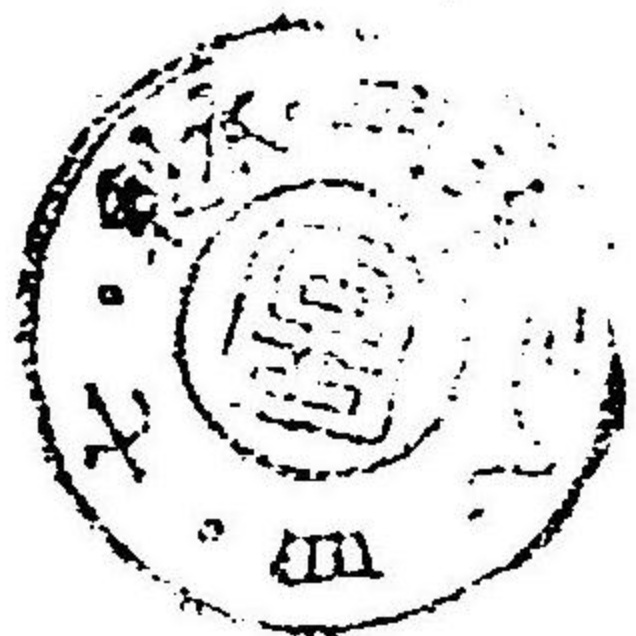




# 銀行論

全

京都法政專門學校講師 法學士 尾崎敬義君講述



京都法政大學

三三三三三三三三三三

尾崎敬義



銀行論 目次

緒論

第一章 銀行ノ起源及發達

第二章 銀行ノ意義

第三章 銀行ノ種類

本論

第一章 銀行ノ資金

第一節 資本金又ハ株金

第二節 預金

第一款 預金ノ性質及種類

第二款 小切手及手形交換

第三款 預金ノ通貨の本能

第三節 紙幣

銀行論 目次

一 一  
一 四  
一 六  
一 五  
一 五  
一 五  
一 六  
一 六  
二 〇  
二 五  
二 七



第一款 紙幣ノ性質及種類

第二款 紙幣發行制度

第二章 資金ノ運用

第一節 手形割引

第一款 手形割引ノ意義其便益

第二款 手形割引ニ關スル注意

第三款 割引歩合

第四款 ヒルブローカー(手形仲買)

第二節 貸附

第一款 貸附ノ意義及割引トノ比較

第二款 貸附ノ種類

第三節 公債證書株券債券及金銀等ノ買入

第一款 公債證書ノ買入

第二款 社債券ノ買入

二七

三三

四〇

四〇

四〇

四三

五〇

五四

六〇

六〇

六四

七四

七五

七七

第三款 株券ノ買入

第四款 地金銀ノ買入

第三章 準備金

第一節 準備金ノ性質

第二節 銀行準備金制度

第四章 爲替

第一節 爲替ノ意義

第二節 爲替相場ノ變動

第三節 爲替逆戻矯正法

第四節 爲替實驗上ニ要スル注意

第五章 恐慌

第一節 恐慌ノ意義及其發生事情

第二節 恐慌ノ原因

第三節 恐慌ノ豫防及救濟

七七

七八

七九

七九

八二

八四

八四

八七

九三

九六

九八

九九

一〇二

一〇六



銀行論 目次 終

銀行論

法學士 尾崎敬義 講述

第一章 銀行ノ起源及發達

銀行ナル語ハ外國ニテ Bank, Banque, Banken ナル文字ヲ用ヒ其語源ニ就テハ二個ノ學說アリ一ハキノバルトノ唱フル所ニシテ其說ニ曰ク Bankトハ伊太利語ノ Banco ヲヨリ來ル Bancoトハ Bancaノ意味ニシテ當時伊太利ノロムボード人ハ貨幣手形ヲ交換スルニ際シ Bancaヲ用ヒ若シ支拂ヲ履行セサルトキハ此ノ Bancaヲ破壞スルニトシテナレリ此ヨリ所謂 Bankrupt ナル語ヲ生スルニ至レリト他ノ一說ハ主トシテマクシオンオツドノ主張スル所ニシテ西曆千七百一十一年ノ頃伊太利ハノニス市ニ於テハ戰争ノ結果財政非常ニ困難ヲ來シタルヲ以テ當時ノ財政官ハ各市民



銀行ノ發達ハ公債ヲ募集セリ之ヲ *Notes* ト稱セリ而シテ此ノ語ハ獨乙ニ於テ Bank 呼ハレ此ノ Bank ナル語ハ更ニ伊太利化シテ *Banco* ト稱セラルルニ至レリ此レ *Banco* ナル語ノ起源ニハ始メハ公債ヲ意味シタリシモノカ後此ノ公債ニ應募スル資本家組合ノ意ニ轉用セラレ遂ニ今日ノ銀行ノ義ニ用キラルルニ至リタルナリト余ハ概説シ以テ穩當ニシテ且眞ニ近キモノト信ス

前ニ述フルカ如ク銀行ノ語源ノ因テ來ル所ヨリ察スレハ銀行ノ起源ハ中世ニ於ケル伊太利諸府ニアルカ如シ當時伊太利ハ商業ノ中心ニシテ隣邦ノ貨幣此處ニ蒐リタルヲ以テ之カ兩替ノ必要ヲ生シ所謂兩替商ナルモノヲ生シ此ノ兩替商ハ漸時世間ノ信用ヲ得其金庫中ニ世人一般ノ貨幣ヲ預ルコトナリ更ニ進メテハ預金者ノ爲メ之ヲ第三者ニ支拂ヒ尙進メテハ同一銀行ニ取引ヲ有スル數人ノ間ニ現金支拂ノ必要アルトキハ單ニ帳簿上ノ附替ニ依テ之ヲ皆濟シ以テ預金者ノ便益ヲ計ルニ至リ漸次銀行本來ノ面影ヲ認メヨムルニ至リ後第十七世紀ノ初期ニ當リ英國ロンドン市ニ於テ地金銀ヲ取扱フ *Goldsmith* ナルモノアリ其委託セラルタル貨幣ニ對シ *Goldsmith notes* ナ發行セシカ後空ノ約束手形ヲ發行シ之ヲ以

(三)

テ貸出資本ニ充ツルニ至リ是ニ始メテ兌換券ヲ生シ紙幣發行銀行ノ紐元ヲ作ク

然レ至レリ近ク第十九世紀ノ初期ニ至ル迄銀行ハ紙幣發行ヲ以テ其主ナル職務ナリト思惟スルモノ多カリシカ第十九世紀以後商工業ノ發達ニ伴ヒ資金増加スルニ迫リ銀行ハ其過剩ノ資金ヲ預リ之ヲ他ノ資金缺乏セルモノニ貸出シ其間ノ利子ノ差ヲ利得トシ其策ヲ取ルニ至レリ之レ近世預金銀行ノ蓋源ナリトス

我國ニ於テ銀行ノ創始ハ元祿ノ頃大阪ニ於テ天子屋五兵衛ト云フモノ今日ノ手形ノ如キモノ、流通ヲ試ミシニ始リ次テ小松屋淨徳平野屋五兵衛等出テ、手形ヲ振出し經濟上ノ便益ヲ計レリ又當時ニ於テ兩替屋ナルモノアリシカコハ單ニ金錢ノ交換ヲナスノヨリナラス極メテ今日ノ銀行業ニ類似スル所アリ而シテ兩替屋中ニモ大中小アリテ金融上互ニ親子ノ關係ヲセシカ如シ後維新ノ際ニ至リ國家ノ財政紊亂ノ極ニ達シ朝野ノ物議駭然タリシカ明治三年伊藤博文氏ヲ北米合衆國ニ派シ同國ニ於ケル州立銀行ノ制度ヲ參酌シ遂ニ明治五年十一月國立銀行條例ノ發布ヲ見ルニ至レリ該條例ハ其後屢々改正セラレテ遂ニ銀行業今日ノ發達ヲ見ルニ至レリ

(三)



## 第二章 銀行ノ意義

銀行ノ何タルヤハ銀行論ヲ終ルニ迫ヒ自ラ解釋シ得ヘキ事ニ屬ス。レトモ余ハ一般ノ著書ニ倣ヒ講義ノ初ニ於テ銀行ニ關スル大體ノ觀念ニ就テ一言スヘシ。ギリバルド曰ク「銀行ハ資本即金錢(モチー)ヲ媒介スルモノニシテ之ヲ餘裕アル所ニ集メ不足ナル所ニ致ス即金錢ノ貸借ヲ媒介シテ其利息ノ差ヲ營業利得トスルモノナリ」ト

此ノ説ニ同意スルモノハ有名ナル英國ノ經濟學者ニコルソンノ如キアリ又我國ニテハ天野博士ノ如キモ此ノ説ヲ主張セリ乍併此説ハゾライスノ言フ如ク全ク信用ト云クニトテ度外視スルヲ以テ今日ノ銀行ノ觀念ニ比シ稍狭キノ感ナキ能ハス。ハナミゾライス曰ク「銀行ハ購買力(バイチエーシングパワー)ヲ媒介スル所ノ營業ナリ」ト

此ノ説ニ依レハ銀行營業ノ目的物ハ購買力ニシテ單ニ金錢ニ止マラスト云フニ

(四)

アリ當時英米二國ノ銀行ニ於テ其受入ル、所ノ百分ノ八十乃至九十ハ小切手及各種ノ手形ニシテ此等ノ小切手又ハ手形タルヤ金錢ニ對スル債權證書ト性質ヲ同クシ法律上其履行ヲ主張シ得ヘキモノナリゾライスハ此ヲ總稱シテ購買力(バイチエーシングパワー)ト云ヒ特ニ金錢ト云フコトヲ避ケズリ米ノウオーカー獨ノワグナーモ亦此ノ説ヲ祖述セリ

(五)

獨ノフザリボピツチ曰ク「銀行ハ金錢(ゴールド)信用(クレヂット)及有價證券(ウニルトバビール)ヲ媒介スルモノナリ」ト

此ノ説ニ依レハ銀行ハ仲買人ノ業務ヲモ兼有セルモノ、如ク沿革上獨國獨特ノ定義ト見ルノ外一般銀行ノ觀念トナス可カラザルハ多言ヲ要セス

以上述ヘル銀行ノ定義中余ハゾライスノ定義ヲ以テ近世銀行ノ觀念ニ最モ該當セルモノト信ス只氏ノ定義ハ形式ニノミ重キ置キタルノ傾アルヲ以テ初學者ニ取リテ稍印象ノ明瞭ヲ缺クノ感アリ故ニ余ハ實質上ヨリ銀行ヲ左ノ如ク觀念セシトス

銀行ハ資本ノ融通ヲ司リ貸借ヲ媒介シ其義務ニ對シテ拂フモノト其權利ニ對シ



ヲ得ルモノトノ差金ヲ以テ營業上ノ利得トスルノ業務ナリ  
更ニ之ヲ詳述スレハ

一、「資本ノ融通ヲ司リ」トハ例ハ銀行カ一般公衆ヨリ餘裕アル金錢ヲ預リ又ハ約  
束手形或ハ紙幣ヲ發行シ之ヲ商工業者ニ貸付ケ又ハ其手形ヲ割引シ以テ生産分  
配ノ事業ヲシテ圓滑ナル發達ヲ遂ケシムルヲ云フ

二、「貸借ヲ媒介スト」ハ公衆中資本ニ餘裕アルモノト資本ノ缺乏ヲ感スルモノト  
ノ間ニ立チ兩者ヲ媒介シ餘裕アルモノハ之ヲ銀行ニ致シ缺乏ヲ感スルモノハ手  
形又ハ相當ノ擔保物ヲ出シ銀行ヨリ貸付又ハ割引ニ依リ融通ヲ受クルコトヲ云  
フ

三、「其義務ニ對シテ拂フモノト其權利ニ對シテ得ルモノ云々」トハ銀行ハ普通株式  
ニ對シテハ配當金預金ニ對シテハ利子ヲ仕拂ハサルヲ得ス又貸付ノ爲ニ利子ヲ  
得割引ニヨリ割引料ヲ得其利子ノ差額ハ銀行ノ業銀利得タルヲ云フ

### 第三章 銀行ノ種類

銀行ハ諸種ノ標準ニ基キ之ヲ區別スルコトヲ得余ハ之ヲ形式上及實質上ノ二點  
ヨリ區別シ我國現行ノ制度ニ照シ説明セシトス

#### 第一形式ニ基キテノ區別

(一)個人銀行 個人銀行ハ其昔商業ノ區域狹少ニシテ生産資本ノ需要大ナラザ  
リシ時代ニ於テ尤モ適當ナル營業組織ナリシモ近來通信運轉ノ便開ケ商業  
ノ區域漸ク擴張スルヤ他人ノ財産ノ狀況信用ノ程度ヲ知ルコト難キニ至リ個  
人銀行ノ制度ハ次第ニ衰運ニ向ヘリ

(二)法人銀行 有限責任ノ株式會社銀行ハ第十九世紀ノ初期創メテ英國ニ起リ  
經濟社會ノ發達ニ伴ヒ漸次其勢力ヲ増加スルニ至レリ

(イ)特權法人銀行 何レモ株式組織ニ依リテ成立シ其所謂特權中我國ニ於テ  
認メラル、重ナルモノヲ擧クシハ(一)日本銀行ニ兌換銀行券發行權ヲ與ヘ臺灣  
銀行ニ券面壹圓銀貨一枚以上ノ銀行券發行權ヲ與ヘ(二)日本勸業銀行ニ增割  
金付債券ノ發行ヲ許シ(三)日本勸業銀行農工銀行日本興業銀行北海道拓植銀  
行ニ商法ノ規定ヨリモ簡易ナル條件ヲ以テ又商法ノ規定スル制限額以上ノ



債券ヲ發行スルコトヲ許シ(四)農工銀行、北海道拓殖銀行、臺灣銀行ノ株式ノ一部ハ政府之ヲ引受ケ一定ノ期間一定ノ條件入下ニ政府ノ持株ニ對スル利益配當ヲ免除シ(五)日本勸業銀行、日本興業銀行ノ利益配當率年五分ニ達セザルトキハ政府ハ一定ノ年限間之ヲ補給シ(六)北海道、沖繩縣ニ設立スル農工銀行ハ一定ノ期間政府ヨリ一定ノ金額ヲ下附スルカ如キ之レナリ

(七)普通會社銀行 商法ニテハ會社ヲ分テ合名會社、合資會社、株式會社、株式合資會社ノ四種トナス然レトモ我國ノ現狀ニ於テハ株式合資會社組織ノ銀行ナシ

銀行業トシテ個人組織及法人組織ノ可否ヲ論スルハ今ヤ既ニ其時ニアラス前ニモ云フカ如ク方今經濟社會ノ大勢ハ狭少ナル個人組織ノ銀行ヲ以テ足レリトモ大仕掛大資本ヲ以テ協力ニ因ル法人組織ノ銀行ノ必要ヲ見ザルナシ余ハ左ニ法人銀行カ個人銀行ニ比シ特有セル長所ヲ列記シ本項ヲ結ハントス

一 法人銀行ハ個人銀行ニ比シ比較的巨額ノ資本ヲ集ムルコトヲ得從テ法人銀行ハ信用高ク預金自ラ集積ス

(八)

(一)

- 二 法人銀行ハ分量ニ大小アル資本ヲ集メテ之ヲ適宜ニ分割スルノ利益ヲ有ス
  - 三 法人銀行ニ於テハ危險ヲ多人數ニ輕少ニ分擔セシムルノ利益アリ
  - 四 法人銀行ハ人爲的ニ機關ヲ定ムルヲ以テ個人銀行ノ如ク偶然ノ出來事ニ遇ヒテ消滅スルコトナシ
  - 五 株式組織ノ法人銀行ハ株式ヲ汎ク公衆ニ募ルヲ以テ生産ノ集中ヲ計ルコトヲ得
  - 六 銀行業務ハ概シテ一定ノ規律ニ從ヒ所理スルヲ以テ法人銀行ハ株式會社ノ利益ヲ充分ニ利用スルコトヲ得
- 第二 實質ニ基ク區別
- (一)貯蓄銀行及庶民銀行
- 貯蓄銀行ノ主眼トスル所ハ細民ノ貯蓄ヲ保護獎勵スルニアリ從テ左ノ事項ニ注意スルコトヲ要ス
- (イ)如何ナル小額ノ貯金モ之ヲ預リ又各所ニ取扱所ヲ設ケテ預入ニ便宜ヲ與フ



ルコト

- (ロ) 預金ノ一口ノ最大額ヲ定メ中流以上ノ者ヲシテ貯蓄銀行カ特別ニ細民ノ爲ニ設ケラレタルコトヲ知ラシムルコト
  - (ハ) 貯金ノ安全ヲ計ル爲メ營業者ノ資格及預金利用ノ方法ヲ制限スルコト
  - (ニ) 一定ノ準備金ヲ備ヘシムルコト
  - (ホ) 重役ノ責任ヲ重カラシムルコト
- 我國ニ於テハ貯蓄銀行條例アリ其内容ノ重ナルモノヲ學クレハ左ノ如シ
- (イ) 資本金三萬圓以上ノ會社タルコトヲ要シ
  - (ロ) 一口五圓未満ノ金額ヲ預ル時ハ之ヲ貯蓄銀行ト見做シ
  - (ハ) 貯蓄預金拂戻ノ擔保トシテ預金總額四分ノ一以上ノ金額ヲ利付國債證券又ハ地方債證券ニテ備ヘ置キ之ヲ本店所在地ノ供託所ニ預入レシム擔保金額カ資本金ノ半額以上ニ及フトキハ商業手形及確實ナル會社債券又ハ株券等ヲ用ユルコトヲ許シ以テ支拂準備ヲ強制スルト同時ニ資金運用ノ方法ヲ制限シ

(三)

(二) 貯蓄銀行取締役ヲシテ退任後二ケ年間ハ其在任中ニ生シタル銀行ノ義務ニ付キ連帶ノ責任ヲ負ハシム

等專ヲ細民ノ保護及公益ヲ目的トシ營業者ノ利益ノ如キ寧ロ第二ノ目的トセ

ルカ如シ

(三)

庶民銀行 (Peoples Bank) ノ目的ハ下流社會ノ貯蓄ヲ獎勵スルト同時ニ之ニ生産上必要ナル資金ヲ供スルニアリ我國ニ於ケル信用組合ノ制度ハ稍之ニ類似ス獨乙ニ於テハ社會政策ノ一方法トシテ發達セリ

(二) 普通銀行(商業銀行) 普通銀行ハ商業ノ機關ニシテ商業資本ハ普通商品ニ放

下セラル、カ故ニ其回收ヲ迅速ニシテ信用ノ期間モ長キヲ要セス從テ短期ノ貸付ヲナスヲ以テ其目的トス尙本論ニ入テ詳述スヘシ

(三) 農業銀行 農業銀行ハ農業ノ機關ニシテ農業ニ投スル資本ハ容易ニ回收スルヲ得ス其長期ナルモノハ三十年ヲ下ラサルコトアリ故ニ例ハ一千萬圓ノ銀行ヲ起シテ一旦其全額ヲ放下セハ資金ハ土中ニ埋沈シテ更ニ貸付ヲナシ其事業ヲ擴張スルコトヲ得ス故ニ此等ノ場合ニハ債券ヲ發行シ資金ヲ貸付ケ以テ



農業ノ發達ヲ計ルニアリ之レ恰モ先キニ貸付ノ爲メニ抵當トシタル土地ヲ債券ニ切替ヘタルノ狀アリ此クシテ幾回トナク前回ノ貸付ノ爲ニ得タル抵當ニ依リ債券ヲ發行シ以テ資金ノ融通ヲ計ルモノナリ此ヲ以テ見レハ農業信用ノ發達ト其効用ノ如何ハ實ニ債券發行ノ難易如何ニ係ルヲ以テ債券發行ニ關シテハ特ニ割増金ノ制度ヲ認ムルヲ要ス

我國ニ於テハ日本勸業銀行ハ農業界ノ中央機關トシテ日本銀行カ他ノ商業銀行ヲ率ユルカ如ク勸業銀行モ地方機關トシテ農工銀行ヲ率ユ農工銀行ハ中産以下ノ農工業者カ其僅少ナル不動産ヲ抵當トシテ必要ナル農具肥料買入等ノ借入ヲナシ又市町村ト雖トモ小工事ニ對スル資金借入ヲナス場合ニ之ヲ利用スルノ目的ヲ以テ設立セラレタルナリ而シテ又勸業銀行ハ地方所在ノ抵當不動産ハ農工銀行ナシテ之ヲ監視セシメ債券募集ノ如キモ農工銀行ハ其仲介者トナリ又勸業銀行ハ自ラ債券ヲ發行シ其代價ヲ以テ農工銀行ノ爲メ其債券ヲ引受クルコトアリ殊ニ我國ニ於テハ農工銀行ハ勸業銀行ノ責任代理店トシテ中央ヨリ資金ヲ受取り自己ノ勘定ヲ以テ貸付ヲ爲シ其利益ヲ分配スル等兩者

(四)

ノ關係極メテ深密ナリ

(五)

(四)工業銀行 工業銀行ハ其資本ノ停滯スルコト農業銀行ノ如ク長日月ニ渉ルモノニ非スト雖トモ商業銀行ノ如ク又短日月ニ回收シ得ヘキモノニモ非ス從テ工業銀行モ農業銀行ノ如ク債券ノ力ニ依ルニ非レハ其目的ヲ達スルヲ得ス例之工業ニ對シ主トシテ株券拂込ノ爲メ之ヲ質トシテ金融ヲ得テ以テ拂込ヲ全クセシムル場合ノ如シ元來會社事業ノ如キハ三五年ニシテ其投資ノ金額ヲ償還スルカ如キ利益アルモノニ非レハ其資金ヲ課スルハ必ス債券ノ力ニ依テサルヲ得ス雖然工業ハ農業ニ比シテ利益多キヲ通例トシ殊ニ事業ノ擴張ヲ要スルトキハ概テ商況活潑ナル時ナルヲ以テ少シク高利ヲ以テ債券ノ發行ヲナシ多少貸付歩合ヲ高クスルモ妨ケナシ之レ工業銀行ノ債券ニハ割増金制度ノ特典ナキ所以ノ一ナリ

我國ニ於テ日本興業銀行ハ前述ノ貸付ノ外國債證券地方債證券社債券ノ應募又ハ引受預リ金及保護預地方債證券社債券及株券ニ關スル信託ノ業務ヲ司ルコト、ナリ殊ニ外國債ノ募集ニ就テ國內唯一ノ信用アル媒介機關トシテ向後



其結果ノ見ル可キモノアルヲ信ス

# 本論

## 第一章 銀行ノ資金

銀行ノ資金ヲ分テ資本金又ハ株金預金及兌換銀行券ノ三トス以下節ヲ分テ説明スヘシ

### 第一節 資本金又ハ株金

銀行ハ固ト一ノ營利會社ナレハ之ヲ設立スルニハ資本金ナカルヘカラス然レトモオバリストノ云フ如ク銀行ノ資本金ハ銀行基金ノ上ヨリ見ルトキハ餘リ緊要ナルモノニアラス何トナレハ銀行ハ主トシテ預金ヲ基礎トシテ業ヲ營ムモノニシテ其資本金ハ他ノ商業又ハ工業會社ノ資本金ト異リ其多寡ハ必シモ事業ノ大小ニ比例セザルモノナレハナリ

株式會社ヨリナル銀行ハ其創立ニ當リ資本高チ定メ之ヲ株ニ分チ株券ヲ發行シ



以テ資本金ヲ募集シ其全部若シクハ四分ノ一以上ノ集ルヲ待テ業務ヲ始ムルヲ通例トス我カ日本銀行ニ於テハ明治十六年其創立ニ方リ資本額ヲ一千萬圓ト定メ之ヲ五萬株ニ分チ先ツ二百萬圓ヲ募集シ其業ヲ始メ爾來經濟事情ノ變遷ニ伴ヒ數次資本ヲ増加シ現今ニ於テハ資本金ヲ三千萬圓トセリ

英蘭銀行ハ其創立ノ際政府ヘ百二十萬ポンドヲ貸付ケ其後之ヲ株式トシテ賣却シ之ニ因テ得タル金額ヲ資本金トシテ其業務ヲ開始シ爾來屢々其額ヲ増加シ方今ハ約七千二百七十六萬餘圓トナレリ佛蘭西銀行ハ資本金ヲ七千三百萬圓トシテ之ヲ十八萬二千五百株ニ分チ一株ヲ四百圓トス獨逸銀行ハ資本金ヲ六千萬圓トシ之ヲ四萬株ニ分チ一株ヲ千五百圓トス

### 第二節 預金

#### 第一款 預金ノ性質及種類

預金トハ商工其他一般公衆カ目下使用スルノ必要ナキ金額ノ所有權ヲ銀行ニ移轉シ之ニ許スニ之ヲ運用スルノ權ヲ以テスルモノニシテ銀行資金中最モ緊要ナ

ルモノナリ從テ銀行ハ預金ニ對シテハ普通利子ヲ支拂フテ元則トス

預金ニハ當座預金定期預金通知預金預金手形預金ノ四種アリ

當座預金トハ何時ニテモ預ケ主ノ要求次第支拂フヘキ約束ニテ預リタルモノニシテ主トシテ商人ヨリノ預ケ金ヨリナリ日々頻繁ナル商取引ニ必要ナルモ入用ノ日時ヲ豫メ知ル可カラス手許ニ留置スルハ無益ニシテ且ツ危險ノ恐アルヲ以テ之ヲ銀行ニ預入レ置キ入用ノ都度引出スモノヲ云フ

當座預金中小口當座預金又ハ特別當座預金ナルモノアリ此ノ預金ノ預ケ主ハ必スシモ商人ニ非スシテ寧ロ主トシテ一般公衆カ五圓以上何程ノ金額ニテモ隨意ニ預入レ入用ノ都度自由ニ引出スモノニシテ極メテ便利ナル預金ナレハ此種ノ預金者ハ普通銀行ノ預金者中ノ大部分ヲ占ムルモノ多シ其普通當座預金ト異ル所ハ一般ニ小切手ノ使用ヲ許サ、ルコト及ヒ貸越契約ヲ締結セサルコトノ二者ニテ小切手及貸越契約ノ事ニ關シテハ後段ニ詳述スル所アルヘシ  
定期預金トハ一定ノ期間ヲ定メ其期間内預ケ入ル、モノニシテ此種ノ預金ハ日々取引上資金ヲ要スルコトナク或ハ全ク貯蓄ノ精神ヨリ出テ當分現金ヲ使用ス



ルノ必要ナシト云フ類ノ預金ナリ  
通知預金トハ若シ資金ノ必要アル時ハ五日乃至七日前ニ豫告シテ後ニ引出ス  
トテ約束シテ預ケ入ル、モノヲ云フ此類ノ預金中ニハ銀行カ第二ノ準備金トシ  
テ非常ニ備フル爲メニ他ノ銀行若クハ「ビルプロカー」等ニ預ケ置クモノ多シ例  
ハ預金ノ引出多クシテ現金準備モ漸ク減少シ將來ニ於テモ尙現金ノ必要アリト  
考フルトキハ右ノ現金ニ對シ豫告ヲナシタル後之ヲ受取り使用スルノ類ナリ  
預金手形預金トハ銀行ニテ融通ヲ受ケタル手形割引貸付ノ手取金等ヲ自ラ保管  
スルトキハ火災盜難ノ虞アルヲ以テ之ニ對シテ金額ノ預金手形ヲ受取り隨意ニ  
之ヲ引出スモノナリ

以上各種預金ニ就テ大體ノ觀念ヲ説明シタリ而シテ銀行ハ其預金ニ對シテ利子  
支拂ノ義務ヲ有スルハ之カ運用ノ事實ニ基クモノナレハ隨テ各種預金間ニ存ス  
ル運用ノ便否如何ハ自ラ各種預金ニ對スル利子ノ問題ヲ胚胎セサルヲ得ス以下  
之ヲ研究セシ

當座預金ハ何時引出サル、カテ期シ難キヲ以テ銀行ハ此種ノ預金ヲ他ニ利用ス

(10)

(11)

ル能ハス常ニ其幾分ヲ準備トシテ現金ノ盡所有セサルヲ得ス此等ノ現金ハ何等  
ノ利子ヲモ生セサルノミナラス入用ノ都度屢々引出テ受ケ之カ支拂ヲナシ帳簿  
ノ整理ヲ爲ス等ノ手數モ亦少カラス故ニ英米ノ諸國ニ於テハ當座預金ニハ利子  
ヲ附セサルヲ元則トス若シ利子ヲ附スルトスルモ他種ノ預金ニ比シテハ遙ニ低  
歩ナルヲ通例トス

定期預金ニハ通常利子ヲ附シ期間長ケレハ長キ程利子歩合モ從テ高キヲ元則ト  
ス之レ定期預金ハ當座預金ノ如ク何時引出サル、ヤノ不明ナルモノニアラス其  
期間中ハ預金ヲ盡ク他ニ運用シ利殖ヲ圖ルコトヲ得殊ニ當座預金ノ如ク小切手  
ヲ以テ屢々引出シテ受ケ其都度支拂記帳ヲナス等ノ勞費モナキヲ以テ利子ハ當  
然之ニ附屬スヘキモノニシテ其期限長ケレハ銀行カ他ニ利用スルノ期間モ長ク  
從テ利子ノ歩合モ少ク高キヲ加フルヲ以テ預金ニ對スル利子歩合モ自ラ高カ  
ラサルヲ得ス

通知預金ノ利子ハ性質上當座預金ノ利子ヨリハ高ク定期預金ノ利子ヨリハ低キ  
ヲ元則トス



預金手形預金ハ當座預金ト等シク利子ヲ附セザルヲ常トス之レ此種ノ預金ハ嚴格ニ云ハ銀行資金タル預金ノ性質ヲ具備セザルニ因ルナリ

前ニ列擧シタル預金中經濟上尤モ緊要ナルモノハ當座預金ナリ此ノ預金ヲ其發生スル原因ヨリ區別スルトキハ直接預金及振替預金ノ二種トナスコトヲ得前者ハ公衆ノ直接ニ預ケ入ル預金錢ヲ以テナリ後者ハ銀行カ割引貸付ヲ營ミタル其手取金ヲ振替ノ方法ニ依リ之ヲ其依頼者ノ當座預金中ニ編入スルモノナリ此ノ振替ヨリ生スル當座預金ハ商工業ノ發達セル社會ニ於テハ常ニ直接預金ノ數倍ニ當リ預金中其大部分ヲ占ムルモノトスサレハ銀行業務未ダ幼稚ナル社會ニ於テ其當座預金ハ多ク直接預金ヨリ成ル場合ニハ恐慌到來ノ前兆トシテ預金ノ減少ヲ來スコトアリト雖モ銀行業務大ニ發達シ振替預金カ其預金總額ノ大部分ヲ占ムル場合ニ於テハ恐慌前ニ於ケル貨幣ノ吸收ハ預金總額ノ上ニ大ナル影響ヲ及ホスモノニアラス貸付割引ノ増加ハ却テ預金ノ増加ヲ見ルコトナシトセヌ

### 第二款 小切手及ビ手形交換

(一一)

小切手トハ銀行ニ預金ヲ有スルモノカ銀行ニ對シ自己又ハ名指人又ハ持參人ニ一定ノ金錢ヲ支拂フヘシト云フ命令書ニシテ裏書ヲ以テ轉帳スル所ノモノナリ例ハ甲カ一千圓ノ預金ヲナシ其必要アル毎ニ本人渡ノ手形ヲ製シ銀行ヨリ入用ノ金錢ヲ引出シ或ハ乙米屋酒屋等ヘ支拂ハルヘキ手形ヲ製シ或ハ持參人拂ノ手形ヲ製シ之ヲ彼等ニ與フルモノナリ而シテ乙ハ此ノ小切手ヲ更ニ裏書シテ自己ノ債權者ニ與フルカ又ハ銀行ヨリ現金ヲ受取ルカ又ハ之ヲ直ニ預ケ金トナスカ何レトモ自己ノ隨意タリ然レトモ信用ノ發達セル國ニ於テハ實際上小切手ヲ以テ直ニ現金ノ取付ヲナスモノ極メテ少ク其過半ハ各人間ニ轉帳シ又ハ銀行ノ預金トナルモノ多シ故ニ此點ヨリ見レハハミルトンノ云フカ如ク預金ハ一ノ通貨即交換ノ媒介支拂ノ具タルヘキ性質ヲ有スルモノナリ

小切手ノ振出ニ付テハ銀行ニ有スル預金ノ額ヲ以テ其限度トス併シナカラ時トシテ其額以上一定ノ極度ヲ定メ其範圍内ニ於テ小切手ヲ振出スルコトヲ許スコトアリ之ヲ貸越ト稱シ預金額以外ニ小切手ヲ振出スコトヲ過振ト唱フ之ヲナスニハ其信用及商取引ノ狀況ニ從ヒ豫メ一定ノ極度ヲ約束シ之ニ對シテ相當ノ擔

(一二)



保根抵當ヲ徴シ若シ預金額ヲ越ヘ所謂過振ヲナシタルトキハ其額ニ對シテ利子ヲ徴スルモノトス

小切手中筋引小切手ナルモノアリ小切手ノ表面ヲ横切リテ二箇ノ直線ヲ引キ其間ニ小切手ヲ宛テラレタル銀行ノ名稱ヲ記入シ若クハ單ニ銀行御中ト記載スルモノナリ蓋シ此類ノ小切手ハ銀行ヨリ銀行ニ對シテノミ支拂ハル、モノニシテ銀行以外ノ者ニ支拂フコトヲ得サルモノナリ之レ小切手ノ持參人拂ナル場合ニ於テ往々奸者ノ手ニ落チ巧ニ銀行ヲ欺クモノアルヲ防カントスルニ外ナラス

小切手中俗ニ保證小切手ト稱スル一種ノ小切手アリ之ハ米國ニ於テ始テ行ハレタルモノニシテ同國ニ於テハ殆ト紙幣ト同様ニ通用スト云フ我國ニ於テモ近來頻繁ニ行ハル、ニ至レリコハ小切手ノ宛テラレタル銀行ヲシテ其小切手ノ表面ニ其振出人ノ記載シタル金額ノ確ニ拂ハルヘキコトヲ保證セシムルモノニシテ此ノ保證ニ因リ振出人ハ債務ヲ免レ銀行ハ絕對ノ債務ヲ負擔スルモノナリ故ニ保證ナル文字ハ稍々穩當ヲ缺クノ嫌ナキニ非レトモ習慣上此ノ名稱ヲ用ヒ來レリ其法律上ノ性質ハ學說一定セザレトモ余ハ債務者ノ更代ニ因ル更改ナリト思

惟ス

次ニ手形交換所ノ作用ニ就テ一言セシニ前ニ述ヘタル如ク小切手ノ振出人受取人ノ雙方共ニ同一ノ銀行ト取引スル場合ニ於テハ未ダ手形交換ノ必要ヲ見サルモ別々ノ銀行ト取引スル場合ニ於テハ其手續少シク複雑トナリ初メテ手形交換ノ必要ヲ生スルニ至ルモノナリ例ハ甲乙其取引銀行ヲ異ニスル場合ニ於テ乙ハ甲ヨリ受取リタルA行宛ノ小切手ヲ自己ノ銀行Bニ致シB行ハ多クノ花主ヨリ受取リタルA行宛ノ小切手ヲ毎日A行ニ送りA行ノ有スル自己宛ノ小切手ト交換シ其差額ヲ現金ニテ受授ス然ルニ多數ノ銀行間ニアリテ各行一々其交換ヲナストキハ多クノ人ト時トヲ要スルヲ以テ毎日一定ノ時間ニ一定ノ場所ニ集リ交換ヲナスヲ以テ便利トスルニ至ル之レ手形交換所ノ起ル所以ニシテ其計算ハ各行其組合銀行全體ニ對スル貸借ヲ算出シ其差額ヲ受授シ若シ中央銀行アリテ各行之ニ當座勘定ヲ開始シ居ル場合ニハ其差額ヲ該勘定ニ振替ヘ現金ノ受授ヲ省略スルモノトス

之ヲ要スルニ手形交換ハ正貨ヲ節略スルノ點ニ於テ經濟社會ニ裨益スル所洵ニ



莫大ナルモノニシテ一方ニ於テハ經濟社會ノ進歩ハ倍々手形交換ノ必要ヲ大ナラシメ一方ニ於テハ手形交換高ノ増加ハ經濟狀態ノ發達ヲ表現スルモノト云フヘシ方今世界各國中手形交換高ノ尤モ大ナルハ英米二國ニ如クモノナシ英國ノ手形交換所ハロンドンノ銀行史ニ據レハ千七百五十五年創メテ倫敦ニ於テ設立セラレ米國ノ手形交換所ハ下テ千八百五十三年紐育ニ設立セラレ其初ニ方リテハ其勢力共ニ微々トシテ振ハサリシカ爾來諸方ノ手形交換所相次テ起リ各國亦之ヲ設立スルニ至リ手形交換ノ効績ハ天下ノ識認スル所トナルト共ニ英米ノ二國ニ於テハ手形交換ノ事業益盛大ト極ムルニ至レリ今參考ノ爲メ左ニ倫敦手形交換所及紐育手形交換所ニ於ケル千八百九十五年ヨリ千九百一年ニ至ル七ヶ年間ノ手形交換高ヲ掲載スヘシ

倫敦手形交換所

一八九五年	七五九二、八八六、〇〇〇 磅
一八九六	七五七四、八五三、〇〇〇
一八九七	七四九一、二八一、〇〇〇

一八九八	八〇九七、二九一、〇〇〇
一八九九	九、一五〇、二六九、〇〇〇
一九〇〇	八、九六〇、一七〇、〇〇〇
一九〇一	九、五六一、一六九、〇〇〇

紐育手形交換所

一八九五	二八、二六四、〇〇〇、〇〇〇 弗
一八九六	二九、三五一、〇〇〇、〇〇〇
一八九七	三一、三三八、〇〇〇、〇〇〇
一八九八	三九、八五三、〇〇〇、〇〇〇
一八九九	五七、三六八、〇〇〇、〇〇〇
一九〇〇	五二、六三四、〇〇〇、〇〇〇
一九〇一	七九、四二八、〇〇〇、〇〇〇

第三款 預金ノ通貨的本能



前款ニ於テ概説シタル所ニ依テ見レハ預金ハ交換ノ媒介支拂ノ道具換言スレハ通貨タルノ機能ヲ具有スルコトヲ知ルヲ得ヘシ從ツテ預金ノ通貨的本能トシテ特ニ注意スヘキハ左ノ諸點ニアリトス。

第一 預金ハ經濟狀態ノ發達セル國ニ於テハ割引貸付ノ振替ニ因リテ生スルモノ實ニ其大部分ヲ占ムルモノナレハ此點ニ於テ預金ハ世ノ需要ニ應シテ自然ニ伸縮スルノ性質即チ「預金ノ彈力」ナルモノヲ有シ一國流通紙幣ノ減少スルトキハ割引貸付ノ需要ヲ増加シ從テ預金ヲ増加シ之ニ反シ一國紙幣ノ増加スルトキハ反對ノ現象ヲ生シ預金自ラ減少シ其間代償作用ニ依テ通貨ヲ平均セシムルノ職分ヲ有スルコトハダソバ「ガ米國」コントローラーノ統計ニ依テ其明白ナルコトヲ言明セル所ナリ

第二 進歩セル經濟狀態ノ下ニ於テハ預金中其大部分ヲ占ムルモノハ振替預金ニシテ此種ノ預金ハ銀行カ割引貸付ノ方法ニ依テ自由ニ作出スルコトヲ得ヘキモノナレハ經濟市場ニ於テ通貨ノ缺乏ヲ認ムレハ盛ニ割引貸付ノ事業ヲ行ヒ以テ通貨ノ供給ヲ潤澤ナラシムルコトヲ得ヘク之ニ反スル場合ニ

於テハ割引貸付ヲ慎ミ通貨ヲ減少スルコトヲ得ヘキヲ以テ銀行ハ實ニ通貨ヲシテ市場ノ必要ニ適應セシムルノ力ヲ有スルモノニシテ從テ銀行ハ又物價ヲ整齊スルノ一大勢力ナリト云ハサル可カラス故ニ銀行ニシテ適當ニ此勢力ヲ利用センカ社會ハ紙幣ノ缺乏ニ由テ生スル幾多ノ困難ヲ防止スルコトヲ得ヘシ

第三 此ノ如ク割引貸付ノ方法ニ依テ一國ノ通貨ヲ作出スルコトヲ得ルニ於テハ銀行ハ金融ノ疏通上大ニ有力ナルモノナリ詳言スレハ銀行ハ資金トシテ定期預金通知預金若クハ直接當座預金ヲ有シ之ヲ基金トシテ割引貸付ヲ行ヒ以テ多額ノ振替預金ヲ生スルモノナレハ資金ヲ餘裕アル所ニ取り之ヲ缺乏セル所ニ致シ大ニ金融ノ疏通ヲ計ルノ効力アルモノト云ハサルヘカラス

### 第三節 紙幣

#### 第一款 紙幣ノ性質及種類



第十九世紀ノ初期ニ迫ルマテハ銀行ハ紙幣發行ヲ以テ貸出資金ヲ得ルノ主ナル原因トナセシカ紙幣ヲ發行シ得ル高ニハ自ラ制限アリ而シテ之ヲ發行スル銀行ノ數次第ニ増加スルニ至リテハ銀行ハ之ヲ以テ主ナル資金トナスヘカラサルニ至リ殊ニ近來紙幣發行ノ權ハ政府ヨリ一ノ特種銀行ニ對シテノニ附與スルコトトナリテヨリ紙幣發行ハ銀行事業中寧ロ例外ノ地位ヲ占ムルニ至レリ

紙幣ナル文字ノ中ニハ不換紙幣政府發行ノ兌換券及兌換銀行券ノ三種ヲ含ム茲ニ銀行資金ノ一部トシテ研究スヘキハ兌換銀行券ナリ今兌換銀行券ノ性質ヲ明ニスル爲メ左ニ兌換銀行券ト之ニ類似スル二三ノモノトニ就テ比較スヘシ

第一 預金ト兌換銀行券

兩者ハ其形式ニ於テコソ區別アレ其性質ニ至リテハ毫モ異ナル所ナシ即兩者共ニ銀行ノ負擔スル債務ニシテ要求次第銀行ハ之ニ對シテ仕拂ヲナスノ義務アリ例ハ銀行カ貸付ヲナスニ方リ之ニ兌換銀行券ヲ以テスルモ又預金ヲ受入ル、モ共ニ其準備金ヲ薄弱ナラシムルノ度ハ毫モ異ルコトナシ然ルニ今日ノ實際ニ於テハ紙幣發行ニ對スル準備金ハ嚴格ニ之ヲ規定シ政府モ亦之ヲ監督スルコト嚴

密ナレトモ預金ニ對スル準備金ニ關シテハ僅ニ貯蓄銀行ノ場合ニ於ケルノ外ハ何等ノ明文ナキハ立法上ノ一大缺點ト云ハサル可カラズ

第二 正貨及不換紙幣ト兌換券

正貨トハ金銀等ノ貴金屬ヨリナリ硬貨ニシテ物其物カ其物ニ表示サレタル價格ヲ有スルモノヲ云フ換言スレハ正貨トハ價格ノ基礎及標準トナルモノニシテ信用ノ發達ニ伴ヒ漸次交換ノ媒介タルノ職分ヲ減少スルモノナリ

不換紙幣トハ法律ノ力ニ依テ正貨同様ニ通用セシムルモノニシテ或ハ初メヨリ不換紙幣トシテ發行スルアリ或ハ兌換券ヲ中途ヨリ不換紙幣トナスモノアリ要スルニ不換紙幣ノ發行者ハ紙幣ト正貨トヲ交換スルノ義務ヲ有セサルモノナリ兌換券ハ所持人ノ要求次第其表示スル金額ヲ本位貨幣ヲ以テ仕拂フコトヲ約束スル證券ナリ故ニ嚴格ニ云ハ兌換券ハ一種ノ信用證券ニシテ正貨及不換紙幣ノ如ク物其物カ直接ニ貨幣ノ本位標準及交換ノ媒介ヲ爲スモノニアラス唯之カ法貨トナルノ範圍ニ於テノニ事實上貨幣ト差異ナキニ至ルモノナリ

第三 兌換券ト他ノ信用證券



兌換券ハ初メヨリ流通テ目的トシテ發行スルモノニシテ單純ナル受授ニ因テ債權債務ノ關係ヲ消滅スルモノナリ  
 之ニ反シテ約束手形爲替手形及小切手ハ其發行ノ目的ハ主トシテ債權債務ノ關係ノ存在ヲ證明スルニアリテ其不渡ノ場合ニアリテハ前者又ハ振出人或ハ引受人ニ對シテ償還請求ノ權利アルモノナリ  
 之ヲ要スルニ兌換券ト他ノ信用證券トノ差異ハ其發行ノ目的ニ存シ從テ兌換券ノ流通ハ絕對ニ自由ニシテ他ノ信用證券ノ如ク債權者ハ其受取ヲ拒否スルコトヲ得サルモノトス

#### 第四 政府發行ノ兌換券ト兌換銀行券

政府カ兌換券ヲ發行スルヤ之ヲ以テ諸種ノ支拂ニ充ツルモノナルカ故ニ銀行カ割引貸付ノ方法ニ依リテ兌換券ヲ發行スルカ如ク所謂生産的事情ニ適シ且ツ市場ノ需要ニ應ジテ之ヲ發行スルコト困難ナリ又其回收ノ點ニ於テモ兌換銀行券ハ割引ノ取付貸附ノ返済ニ依リ自ラ返リ來リ若シ兌換券回收シ來ラサレハ同額ノ正貨回收シ來リ以テ市場ノ貨幣ヲ減少スレトモ政府發行ノ兌換券ニアリテ

(三)

ハ其回收ハ租税ノ上納ニ依ルカ否ヲサレハ正貨引換請求ノ場合ニ限ルモノナレハ其回收遲鈍ニシテ金融市場ノ狀況ニ適合スルノ力大ナラス加之政府發行ノ兌換券ノ場合ト雖モ之カ發行行使ハ銀行ヲ利用シテ其手ヲ經ルノ必要アルカ如シ以テ兩者ノ異ル所ヲ了知スヘシ

(三)

### 第一一 紙幣發行制度

紙幣發行ニ就テハ古來種々ノ主義ヲ存シ方今ニ於テモ各國多クハ其制度チ一ニセス而シテ其利害得失ニ就テモ學者ノ見ル所必シモ其軌チ一ニセス以下其制度ノ大體ニ就キ概説スルトコトヲアラントス

#### 第一 全額準備法 The simple deposit method

此ノ制度ハ往時伊太利ニ於テ行ハレタルモノニシテ紙幣發行高テ其準備トナスヘキ金銀ノ有高ニ限ルモノナリ

此ノ方法ニ依ルトキハ銀行ハ徒ニ巨額ノ正貨ヲ庫中ニ死藏スルノ迂ヲ思ヒ私ニ殖利ヲ計リ自己ノ囊中ヲ肥スノ策ヲ企ツルモノナシトセス夫ノ一七九五年佛蘭西



兵和蘭ニ入リ阿姆斯テルダム銀行ノ實況ヲ調査セシニ方リ其準備金ノ多分ハ私  
ニ東印度會社ニ貸付アルヲ發見セシ如キハ好個ノ適例ト云ハサルヘカラス

第二 定額以上金額準備法 The partial deposit method

此ノ方法ハ英國ニ於テ行ハル・モノニシテ若干額ノ紙幣ヲ正貨準備ナシニ發行  
スルコトヲ許シ此ノ高ヲ超過スルトキハ正貨準備ヲ要スルモノトス  
此方法タル嚴ニ正貨準備ヲ要セサル高ヲ制限シ其他ノ發行ハ盡ク正貨ノ準備ヲ  
要ストスルヲ以テ一旦恐慌ノ起ルニ際シ臨機應變紙幣ヲ發行シ以テ市場ノ紊亂  
ヲ救済スル能ハス英國ニ於テモ一八四七年一八五七年一八六六年ノ恐慌ニ方リ  
銀行ノ請願ニ由リ行政所分チ以テ銀行條例ヲ停止シ制限ヲ超過シ紙幣ヲ發行シ  
僅ニ恐慌ヲ鎮靜セシムルコトヲ得タリ

第三 比例準備法 The Proportional reserve method

此ノ方法ハ佛蘭西及白耳義ノ二國ニ於テ行ハル・モノニシテ紙幣發行高ハ其準  
備金ノ三倍若クハ四倍ニ限ルモノナリ  
此法ハ銀行ヲシテ常ニ交換ニ差支ヘサル程ノ準備ヲ貯ヘシメ以テ紙幣ノ信用ヲ

(四)

(五)

維持スルノ效能アルニ似タレトモ平時ニアリテハ銀行ヲシテ平日紙幣發行高三  
分一若クハ四分ノ一ノ正貨ヲ死守スルノ迂ヲ敢テセシメ變時ニアリテハ其效能  
ヲ全フセシムル能ハス却テ市場ヲ擾亂ス例ハ一銀行アリ百萬圓ノ正貨ヲ有シ之  
ニ對シテ三百萬圓ノ紙幣ヲ發行スルヲ得ルモノトセン然ルニ外國貿易又ハ其他  
ノ原因ノ爲メニ五十萬圓ノ正貨銀行ヨリ流出シタリトセンニ銀行ノ正貨準備ハ  
今ヤ僅ニ五十萬圓トナリシヲ以テ法律上紙幣ヲ減少シテ百五十萬圓ト爲サハル  
可カラサルニ至リ遂ニ恐慌ヲ助長スルノ結果ヲ生スルコトナシトセス

第四 最小額準備法 The Minimum reserve method

此ノ方法ハ準備金ノ最小額ヲ一定シタルモノニシテ如何ナル場合ト雖トモ其最  
小額ヲ失フコトナカラシムルモノナリ  
此ノ法ハ前ニ述ヘタル諸制度ト同シク變通ヲ缺クノ方法ニシテ其最小額ノ利用  
モ經濟上時ニ必要ノ場合ナシトセス殊ニ其最小額ハ如何ナル標準ニ因テ之ヲ定  
ムルヤ極メテ漠然タルノ感ナキ能ハス

第五 最多額發行法 The maximum issue method



此ノ方法ハ紙幣發行ノ最多額ヲ定メ其額ヲ超過セサル範圍ニ於テハ準備其他ノ一切ノ事項ヲ發行者ノ自由ニ任スノ法ナリ

此ノ法ハ紙幣ノ濫發ヲ防クノ效能アリト雖トモ經濟社會ノ需要ニ應シテ伸縮スルノ作用ヲ鈍クスルノ缺點アリ且ツ其制限ニシテ高キニ失セシカ毫モ制限ナキニ等シク低キニ失セシカ市場ヲ救済スルノ便益ヲ失フコ至ルヘシ

第六 證券準備法 The documentary Reserve method

此ノ方法ハ紙幣發行ノ準備トシテ公債證書等ヲ政府ヘ預ケ入レシムルモノナリ此ノ法ハ紙幣ハ呈示次第何時ニテモ之ヲ正貨ニ引換ヘサルヘカラサルモノナルコトヲ遺却シタルモノナリ蓋シ證券ハ金融必迫ノ際ハ賣手多ク買手少キ時ニシテ從テ其價格モ下落スルモノナリ加之紙幣ノ取付起ルトキハ通常通貨缺乏ノ時ナルヲ以テ銀行ハ其證券ヲ賣却シ正金ヲ得ントスルモ其目的ヲ達スルコト極メテ困難ナリ故ニ證券準備ノ紙幣發行方法ハ未ダ以テ完全ナル制度ト云フ能ハス

第七 不動産準備法 The Real Property Reserve Method

所謂ロー主義 Lawism トシテ知シレタル方法ニシテ不動産ヲ準備トシテ紙幣ヲ

(二六)

發行セントスルモノナリ

(七)

抑モ土地等ハ貸借ノ抵當物トシテ極メテ確實ナルモノナリト雖トモ呈示次第仕拂ヲ要スル兌換券ノ準備トシテハ極メテ不適當ナリト云ハサル可カラス元來土地等ハ永久ニ涉リテハ其價格變動少シト雖トモ一時ノ變動ハ極メテ大且ツ急ニシテ之ヲ賣却セントスルニ當リテモ其價格ノ暴落スルコト公債株券等ノ比ニアラス從テ土地家屋等モ亦紙幣ノ準備トシテハ適當ナリト云フ可カラス

第八 爲替相場準備法 The Foreign Exchange Method

第十九世紀ノ初ニ當リ英國ノ銀行者間ニ爲替相場ノ高低ニ準據シテ紙幣ヲ伸縮スヘシト主張セシモノアリ即爲替相場我ニ不利ナルトキ紙幣ヲ引揚ケ反之我ニ利ナルトキハ紙幣ヲ増發シ以テ紙幣ノ流通額ヲ正貨ト相伴ハシメントセシモノナリ

此方法ニ謂フカ如ク爲替相場ノ如何ニヨリ紙幣ヲ伸縮シ其目的ヲ達セントスル如キハ實際ニ行ハレ難シ何トナレハ今日國際間ノ仕拂ノ具トシテ公債株券ノ類ノ使用セラル、コト極メテ多キモノアレハナリ且又此ノ方法ニシテ完全ニ行ハレ



ソカ其結果金額準備法若シクハ定額以上金額準備法ト異ル所ナキニ至ルヘキナ

第九 屈伸制限法 The Elastic Limit Method

此方法ハ現今獨乙帝國ニ於テ採用スル所ニシテ一定ノ額迄ハ證券ヲ準備トシテ紙幣ヲ發行スルコトヲ許シ其以上ハ正貨ノ準備ヲ必要トシテ若シ應急ノ必要上正貨準備ナシニ紙幣ヲ發行セントスルトキハ證券準備ノ制限ヲ超過スルコトヲ許シ其超過高ニ對シテハ一定ノ租稅ヲ賦課スルモノナリ

獨乙銀行ニ於テ正貨準備ヲ要セザル紙幣凡一億三千六百九十三萬六千餘圓アリ其三分ノ二ニ當ル高ハ獨乙通貨又ハ帝國大藏省證券地金及外國貨幣ヲ準備トシテ有セシメ其他ハ三ヶ月以内ノ爲替手形ヲ備ヘシメ引換ノ準備トシテ市場ノ景況ニ由リ貨幣ノ需要増加スルトキハ右ノ制限ヲ超ヘテ正貨準備ナシニ紙幣ヲ發行セシメ其超過額ニ對シ五分ノ租稅ヲ課ス

屈伸制限法ニ於ケル紙幣制限外發行額ニ對シ賦課スル租稅歩合ハ豫メ確定セズ之ヲ一定スルノ權利ヲ主務官廳ニ與ヘテハ發行者ヲシテ專心濫發ノ弊ヲ避

(八)

ケシムルノ利益アリ此點ニ於テ我國ノ紙幣發行法ハ獨乙ノ制度ニ比シテ一步ヲ進メタルモノト云フヘシ(日本銀行條例第十四條兌換券條例第二條參觀)

第十 自由發行法 The Free Issue Method

此ノ方法ハ紙幣發行ノ準備ニ關シ何等ノ制限ヲ設クルコトナク只發行者ニ兌換ノ義務ヲ負擔セシメ自由ニ紙幣ヲ發行スルコトヲ許スノ制度ナリ

此法ハ紙幣ニシテ少シク下落ヲ示セハ公衆ハ直ニ兌換ヲ請求スヘキニ因リ發行者ハ之ニ鑑ミ之ヲ増發スルノ愚ヲナサハルヘシトノ考ニ基キタルモノニシテ理論トシテハ毫モ批難スヘキコトナシト雖トモ人事ノコトハ往々理論ヲ以テ一貫スル可カラサルモノ多ク銀行者ハ時ニ目下ノ利益ニ眩惑セラレ不知不識ノ間ニ増發ヲナシ其之ヲ知ルニ及ンテ紙幣發行ヲ止ムト雖モ増發ノ爲メニ不當ノ獎勵ヲ受ケタル事業ハ其終ヲ全フスルコト能ハス急劇ニ紙幣ヲ消却スレハ爲メニ融通中絶シ遂ニ恐慌ヲ惹起スルコトアリ之ヲ實例ニ徵スルニ夫ノ銀行業者トシテ尤モ適切ノ聞エアルスコットランド人ニ於テステ一七四〇年前後ニハ自由發行制度ノ下ニ頗ル紙幣ヲ濫發シ困難ノ極ニイヤ銀行ナルモノヲ起シ之カ整理ヲ試



ミタレトモ終ニ其發行紙幣ヲ交換スル能ハスレテ閉店スルニ至レリト云フ以テ此ノ制度ノ太々警戒スヘキモノタルヲ知ルヘシ

第十一 不換紙幣 Inconvertible Paper Money

不換紙幣トハ其發行者之ヲ正貨ト交換スルノ義務ヲ有セサル紙幣ニシテ之ニ二種アリ一ハ豫メ其額ヲ定メ銀行又ハ政府ヨリ新ニ之ヲ發行スルモノニシテ米國ノ主トシテ行ヒシ所ノ方法ナリ一ハ法律ヲ以テ在來ノ兌換券ヲ不換紙幣トシテ之ニ法貨レガレシヤクタルノ効力ヲ附與スルモノニシテ主トシテ佛國ノ準據セシ方法ナリ抑モ不換紙幣ノ制タル國家事變ニ際シ他ニ財源ノ求ムヘキモノナキ場合ニ於テ採用スル制度ニシテ固ヨリ好メテ採ルヘキノ制度ニアラス然レトモ此ノ制度タルヤ前ニ述ヘタル自由發行ノ制度ト同シク發行者ニシテ能ク細心市場ノ需要ニ注意シ一國貨幣ノ需要以外ニ増發スルナクシテハ所謂貨幣ノ彈力ノ缺乏ニ關スル不換紙幣ノ弊害ヲ見ルコトナクシテ能ク國家危急ノ禍害ヲ救フコトハ古來歴史ノ證明スル所ナリ佛國政府カ一八七〇年ノ敗後巨大ノ軍費及償金ヲ支拂ヒ敢テ財政ヲ擾亂スルコトナク英國カナポレオン戰爭ニ屈セス能ク耐久ノ策ヲ盡シ終

ニ之ニ勝テタル伊太利カ建國ノ大業ヲ全フシタル其他我國維新ノ大功ヲ奏セル皆何レモ不換紙幣ノ力ニ賴ラサルモノナシ故ニ不換紙幣ヲ發行シテ其幣害ヲ蒙ラザラントセハ宜シク其發行方法ニ向ツテ細微ノ注意ヲ拂ハサルヘカラス不換紙幣發行ノ方法ヲ按スルニ古來學者ノ唱フル所ハ金紙平均法ト外國爲替平均法ノ二者ニ準據スルニアルカ如シ

金紙平均法トハ不換紙幣ヲ發行シ紙幣正貨ニ對シ些少ノ差ヲ示セハ其差消滅スルマテ紙幣ヲ減少スルノ法ニシテ外國爲替平均法トハ外國爲替逆戻トナルトキハ其平均ヲ得又ハ順等トナルマテ紙幣ヲ減少スルノ法ナリ元來紙幣ノ正貨ニ對シテ其價格ヲ失フハ其供給需要ニ超過スルニ因ルモノニシテ價格ノ下落ハ物價ノ騰貴ヲ來シ之ノ原因ニ基ク物價ノ騰貴ハ國民經濟ヲ紊亂シ爲ニ外國貿易其權衡ヲ失フニ至ル故ニ内國ニ於テ此ノ現象ヲ見レハ直ニ紙幣ヲ減少シ其下落ヲ防カサル可カラス又之ト同時ニ外國貿易ノコトニ注意シ外國爲替ニ於テ少許ノ逆戻ヲ示スコトアレハ直ニ紙幣ヲ減少シ其平均ヲ復シ又ハ順等ト爲スコトヲ計ラサル可カラス蓋シ不換紙幣發行ノ時ニ際シ外國爲替ノ逆戻



トナルハ概テ紙幣其需要高テ超過シ物價騰貴シ輸入増加スルノトキナレハ之ヲ  
救フノ方法ハ紙幣ノ供給ヲ減少スルノ外ナシ  
以上ノ二法ニ向テ細心注意ヲ怠ラサレハ不換紙幣ノ弊害ヲ避クルニ於テ効果ア  
ルヘシ而シテ此等ノ方法ヲ實行スルニ方リテハ自ラ中央銀行ノ手ヲ借ラサルヲ  
得ス即チ外國爲換逆戻トナリ又ハ内國市場ニ於テ紙幣下落ヲ示シ又兩者並ヒ起  
ルノ時ニ於テハ中央銀行ハ其入り來ル紙幣ヲ庫中ニ止メ貸付割引ヲ爲スコトヲ  
慎マハ自ラ國中ノ紙幣ヲ減少スルコトヲ得又紙幣ヲ減少スルノ要アルトキハ漸  
次利子利合ヲ増加セハ直ニ預金ヲ増加シ引出及貸付割引ノ請求ヲ減シ容易ニ紙  
幣流通ノ額ヲ減少スルコトヲ得ヘシ

## 第二章 資金ノ運用

### 第一節 手形割引

#### 第一款 手形割引ノ意義及便益

手形割引トハ滿期日以前ノ約束手形又ハ爲換手形ニ對シテ滿期日迄ノ利子割引  
(四)

(五)

科ヲ控除シタル殘額即チ手形ノ代價ヲ割引依頼人ノ當座勘定ニ振替ヘ又ハ直接  
ニ現金ニテ支拂フモノニシテ銀行資金ノ運用中最モ主要ナルモノナリ「マクレオ  
ツ」曰ク若シ銀行カ一年五分ノ利率ヲ以テ百磅ノ手形ヲ割引スル時ハ手形面ノ  
金額ヨリ五磅ヲ差引キ殘金九十五磅ヲ依頼人ニ渡スヘシ即之レ九十五磅ヲ貸シ  
一年ノ後百磅ヲ受取ル權利ヲ得ルモノニシテ其實際ノ利率ハ五分ヨリ稍高ク百  
磅ニ付キ一年五磅十志九片ノ割トナルナリ之ノ方法ヲ名ケテ銀行割引法ト云フ  
ト以テ其普通貸付ト異ル所ヲ了知スヘシ  
抑モ貨物ノ生産者ヨリ消費者ニ達スルニハ卸賣商小賣商等ノ手ヲ經ルヲ通例ト  
ス此ノ間ニ於テ其貨物ニ對スル代價ヲ常ニ現金ヲ以テ支拂フコト、スレハ別ニ  
手形割引ノ必要ヲ生セスト雖モ此ノ如キ現金取引ハ之ヲ爲スコト極メテ難ク強  
テ之ヲ爲サントセハ大ニ取引高ヲ減少セサルヲ得ス果シテ然ラハ生産者ハ其事業  
ヲ擴張スルコト能ハス消費者モ貨物供給ノ裕ナラサルヨリ自然高價ニ貨物ヲ購  
買セサルヲ得ス然ルニ茲ニ一銀行アリテ手形ノ割引ヲナセハ貨物ノ生産ヲシテ  
自由ナラシメ且ツ其運轉ヲ圓滑ナラシムルノ利益アリ例之一万圓ノ資本ヲ有ス



ル生産者アリトスルニ此ノ生産者ハ一萬圓ノ全資本ヲ以テ銀行ノ割引ニ依ラスシテ一ノ製造業ニ従事セシトセハ其製造成ルノ後數ヶ月ヲ經テハ現金ヲ得ル能ハス其間器械器具ヲ使用スル能ハス粗成品ヲ買入ル、能ハス労働者ノ労働ヲ仕拂フ能ハス爲メニ其損失擧テ數フヘカラサルニ至ル此ニ於テカ此ノ生産者ハ一萬圓ノ全資本ヲ一時ニ使用セス二回若クハ三回ニ分チ使用セサル可カラサルニ至ルヘシ然ルニ銀行割引ノ便ヲ利用スルニ於テハ此ノ一萬圓ヲ使用シ信用ヲ以テ貨物ヲ卸賣商ニ賣却シ直ニ手形ヲ宛テ割引ヲ受ケテ事業ヲ繼續スルコトヲ得之レ手形割引ハ生産ヲ擴張スルコトヲ得ト云フ所以ヒシテ生産擴張サルレハ其生産費從テ減シ價格下落シ需要増加スルニ至ルハ蓋シ自然ノ數ナリ

以上ハ手形割引ノ生産上ニ及ホス便益ナルカ其分配上ニ及ホス利益ハ生産者ヲシテ繼續的ニ大規模ノ事業ヲ營マシムル結果トシテ多クノ生産業ノ利益ヲ増加ス生産業ノ利益増加セハ之カ分配ハヨシ比較的ニ其割合ニ増加ヲ生セスト雖モ絶對的ニ資本案労働者企業家等ノ分配ヲ大ナラシムルヤ明ナリ其他大規模ノ生産ハ生産費ヲ減シ物價ヲ低廉ナラシムルヲ以テ價格下落ト共ニ其需要ヲ増加スル

(六)

貨物ニアリテハ其消費高ヲ増加シ價格下落スルモ其需要ニ變化ヲ及ボサ、ル性質ヲ有スル貨物ニアリテハ其購買價格ヲ減少シ一般消費者ヲ利スルコト大也

手形割引ノ事業家其他一般經濟社會ノ爲メニ便益ヲ與フルコトノ大ナル實ニ此ノ如シ而シテ手形割引ハ銀行ニ取リテモ遙ニ貸付其他ノ事業ヨリ利益アルモノトス例ハ貸付ニ於テハ期限アリテ期限中ニ返戻ヲ請求スルコト能ハス爲ニ目下必要ノ事アルモ急ニ金錢ヲ得ル能ハス之ニ反シテ手形ノ割引ニ於テハ之ヲ割引シタルモノハ其期限中ト雖モ急ニ金錢ヲ要スルコトアレハ他銀行ニ於テ之カ再割引ヲ爲スヲ得ヘク又更ニ再々割引ヲ爲スヲ得ヘキヲ以テ金融上便利ナルコト到底貸付ノ比ニアラス又割引ハ利子ヲ前取リスルト同様ナルヲ以テ同歩合ヲ以テ割引ヲ爲スト貸付ヲ爲ストニ於テ計算上手形割引ノ銀行ニ利益アルコト言ヲ俟タス此ノ點ニ就テハマツクラクノ銀行論ニ掲ケタル表ヲ見レハ其差違ノ大ナルコト更ニ明也

(七)

## 第二 欸 手形割引ニ關スル注意



凡ソ銀行ニ割引ヲ依頼スル手形ハ性質上之ヲ分類スルニ左ノ數種アリ

第一 生産者ヨリ卸賣商ニ宛テ振出サレタル爲替手形又ハ卸賣商ヨリ生産者ニ宛テ振出サレタル約束手形

第二 卸賣商ヨリ小賣商ニ宛テ振出サレタル爲替手形又ハ小賣商ヨリ卸賣商ニ宛テ振出サレタル約束手形

第三 小賣商ヨリ消費者ニ宛テ振出サレタル爲替手形又ハ消費者ヨリ小賣商ニ宛テ振出サレタル約束手形

第四 商工業以外ノ取引ニ對シ振出サレタル手形

第五 空手形又ハ融通手形 Accomodation Bill

以上ノ内尤モ銀行カ割引ヲナスニ適スル手形ハ第一種及第二種ニ屬スルモノナリ第三種ノ手形ハ其金額多クハ小ニシテ銀行割引ニ適セス第四種ノ手形ハ概テ銀行割引ノ要ニ供スル必要尤モ少キモノナリ第五種ノ手形即チ空手形又ハ融通手形ト稱スルモノニ至リテハ最モ危険ナルモノニシテ之カ爲ニ銀行ハ周到ナル注意ヲ要スルモノナリ以下空手形ニ就テ一言ヲ費サントス

抑モ空手形トハ例ハ甲カ金錢ヲ要スルトキ乙ニ至リ全ク物品ノ取引ナシニ空手形ヲ宛ツルノ許諾ヲ得テ振出シタル手形ノ如キヲ云フ此ノ種ノ手形ハ通例投機者流ノ振出ニ係リ其支拂人ハ眞ノ義務者ニ非ス唯他人ノ爲メニ名義上義務者ノ地位ニ立ツモノナレハ期日到來スルモ金錢調達ノ準備ナク時ニハ更ニ新手形ヲ振出シ其割引手取金ヲ以テ舊手形ノ支拂ニ充ツルモノナリ例ハ投機熾ナルニ當リ商人ハ其物品ヲ十分ノ高價ニ達セシメ然ル後之ヲ賣却シ巨利ヲ博セント欲スレトモ當初買人ノトキ約束セシ支拂期限切迫シ自己ニ宛テラレタル手形ハ之ヲ支拂ハサルヲ得ス然ルニ投機ニ係ル物品ハ未タ騰貴セス之ヲ賣惜ムノ餘リ空手形ヲ振出シ又買込ノ爲メ資力既ニ盡クルト雖モ十分ノ買占ヲ爲シ其物品ヲ騰貴セシメ然ル後之ヲ賣ラントスル場合等ニ振出スコト多ク此等ノ投機其圖ニ當レハ手形ハ支拂ハルヘシト雖モ投機賣買ニシテ其目的ヲ達スルコトハ極メテ稀ナルモノナレハ此等ノ手形ヲ割引スル銀行ハ遂ニ支拂日ニ於テ不渡ノ危険ヲ見ルコトヲ覺悟セサルヘカラス

元來空手形ハ振出人カ支拂人ニ物品ヲ賣渡セシニアラス唯熟談上期限ニハ手形



支拂ニ差支ナキ様取計フコトヲ約シ好意上ノ許諾ヲ受タルモノナレハ眞手形ノ場合ト異リ實際ハ振出人カ債務者ニシテ支拂人カ債權者ナリ故ニ手形ノ形式上ノ債務者ナル支拂人モ實際自己ノ買入レタル貨物ニ對シテ宛テラレタル手形ノ如ク其資産ヲ以テ支拂フコトヲ期セス唯振出人ヨリノ回金ヲ待ツヲ通例トス從テ投機其目的ヲ達セス回金ヲナス能ハサルニ際シテハ其支拂ニ差支ユルハ蓋シ言フ俟タサル所ナリ

一八五七年スコットランドノ「ウエストルン」銀行カ「マクドナル」會社外三會社ノ爲メニ割引セシ手形ノ總額ハ百三十四万八千ポンド餘ニシテ其内百二万八千ポンド餘ハ全ク空手形ニ屬シ不渡トナリ此ノ四會社カ手形ノ支拂人ニ報酬ヲ與ヘテ傭ヒ入レタルモノ實ニ七十餘人ノ多キニ達セリト云フ此ノ所謂傭ヒ入レ支拂人(Hired Acceptor)ヲ使用スルニ至リテハ空手形ノ濫用モ極點ニ達セルモノト云ハサルヘカラス

空手形ノ恐ルヘキコト實ニ此クノ如シトスレハ銀行カ手形ヲ割引スル場合ニ於テ綿密ナル注意ヲ以テ手形ノ振出人ノミナラス裏書人支拂人等手形ニ關係アル

者ハ悉ク之ヲ審査シ毫モ疑ナキニ追テ始テ之ヲ割引スヘシ例ヘハ蠶業者カ生絲商ニ宛テタル手形又ハ生絲商カ吳服商ニ宛テタル手形ノ如キハ多クハ眞手形タルヘシト雖モ之ト正反對ノ行路ヲ取ル手形ハ稍疑ナキ能ハス何トナレハ生絲商ハ其引取タル蠶繭ノ價ヲ拂フ能ハス生絲ノ騰貴ヲ見込ミ之ノ間ニ投機ヲ試ミントシ蠶業者ヲ欺キ之ニ空手形ヲ宛テ承諾ヲ受ケタルノ疑ナキ能ハサレハナリ唯茲ニ一ノ例外トシテ空手形ノ利用スヘキモノアリ例ヘハ甲乙ノ兩地アリ春季ハ甲地ニ於テ輸入多ク秋季ハ輸出多シ乙地ハ全ク之ニ反ス此ノ場合ニ於テ春季ハ甲地ニ於テ乙地ニ宛テタル手形ノ需要多ク從テ其價格高ク秋季ハ其價格低シ而シテ乙地ハ全ク之ニ反ス然ラハ甲乙兩地ノ銀行互ニ「コルレスボンデンス」ヲ約シ春季ハ甲地ノ銀行ヨリ乙地ノ銀行ニ空手形ヲ宛テ之ヲ輸入者ニ賣却シ秋季ニ至リテハ乙地ニ宛テタル手形ノ供給多キヲ以テ之ヲ輸出者ヨリ買入レ乙地ニ送付シ以テ銀行ニ辨償スヘシ然ラハ輸入者ハ現金送付ノ不便ヲ免レ輸出者ハ現金積ミ戻シノ不利ヲ免レ銀行ハ又手形ノ賣買價格ノ差額ヲ利潤トスルヲ得ヘシ此クノ如クハ空手形ト雖モ其功ナキニアラス



以上空手形ニ付テ一言セリ又眞手形ト雖モ往々危険ナルモノナシトセス例ヘハ寒地ニ氷ヲ輸出シ熱地ニ綿ヲ輸出シ之ニ宛ツル手形又ハ相互承諾ト稱シ一物品ニ對シ金錢ヲ要スル場合之ヲ甲ヨリ乙ニ賣渡シ乙ニ對シテ手形ヲ宛テ乙ハ又之ヲ甲ニ賣渡シ手形ヲ宛テ互ニ承諾ヲナスモノ、如キハ眞手形タルニ毫モ疑ナシト雖モ前者ニ於テハ輸出物品ハ需要者ナクシテ必ス賣却セラレス後者ニ於テハ甲乙相圖リテ銀行ヲ欺クモノナレハ銀行ニ取リテハ大ニ危険ナルモノト云ハサルヘカラス

次ニ手形期限ノ長短ニ因リ其優劣ヲ決スルコトアリギルヤルドノ說ニ從ヒ之ヲ列擧スレハ左ノ如シ

一 短期手形ノ長所

- (イ) 安全ノ程度ニ於テ短期手形ハ長期手形ニ優ルモノナリ何トナレハ手形期限迄ニ其關係人ノ破産スヘキ危険ノ度合ハ其期間ノ長短ニ正比例ヲナスモノナレハナリ
- (ロ) 一定ノ金額ヲ一定ノ歩合ニテ手形割引ニ使用スル時ハ短期割引ノ方長期

割引ヨリモ一層利得大ナルヘシ何トナレハ重利法ヲ以テ計算セハ資金回轉ノ度數多キ方利子額大ナレハナリ

(ハ) 資金固定ノ患長期割引ヨリモ短期割引ニ於テ少シ

銀行若シ紙幣ヲ發行スル時ハ短期手形ノ割引ハ長期手形ノ割引ヨリモ其發行額ヲ大ナラシム

(ホ) 割引手数料ヲ徵スルニハ割引度數多キ短期割引ノ方其度數少キ長期割引

ヨリモ一定ノ金額ヲ使用シテ受クル所ノ手数料大ナリ

(ヘ) 投機熾ナル時ハ長期割引ハ之ヲ助長スルノ傾アレトモ短期割引ハ支拂期限近キカ故ニ所謂思取引ヲ防クノ傾アリ

二 長期手形ノ長所

- (イ) 割引料ハ常ニ短期手形ヨリモ長期手形ニ於テ高率ナリ
- (ロ) 長期割引ハ遙ニ短期割引ヨリモ多額ノ金額ヲ運轉スルコトヲ得
- (ハ) 長期手形ノ割引ハ短期手形ノ割引ニ比シ永ク資金ノ融通ヲ許スモノナレハ其地方ニ於ケル生産業ヲ發達セシメ又土地ノ改良ニ放資スルコトヲ得



蓋シ普通銀行カ商工業者ノ機關トシテ手形割引ノ業務ヲ營ムニ當リ其資金ヲ安固ニ且ツ急速ニ運轉シ以テ其利得ヲ計ラントモハ短期手形ノ割引ハ長期手形ノ割引ヨリモ優レルコト多言ヲ要セサルヘシ

終ニ一言スヘキハ手形ノ割引ニ關シ其關係人ノ信用及財産等ヲ精査スヘキコト之レナリ手形支拂人ノ信用及財産ノ如何ハ銀行カ手形ノ割引ヲナスニ當リ第一ニ調査セサルヘカラサル要件ニシテ之ノ點ニ於テ欠缺アルトキハヨシ其手形カ真手形ナルモ決シテ割引ス可カラス商業興信所ノ設備ハ銀行家ノ審問ニ應シ商工業者ノ信用及財産ノ如何ヲ探査スル爲ニ存在スルモノナリ

### 第三款 割引歩合

本款ニ於テ研究セントスル所ハ手形割引ニ關スル歩合ノ問題ナリ元來手形ノ割引ト云フハ手形ノ賣買ニ外ナラスシテ例ヘハ銀行カ三ヶ月期限ノ百圓手形ヲ五分ニテ割引スルトキハ之ヲ九十圓ニテ買受ケ爲ニ依頼人ハ三ヶ月後ニ於テ支拂人ニ其支拂ヲ請求スル權利ヲ失ヒ銀行ハ其權利ヲ取得スルモノナリ此ヲ以テ

(一四)

觀レハ割引歩合ノ高低ハ即チ手形價格ノ高低ニシテ其歩合ハ需要供給ノ元則換言スレハ銀行ノ手ニアル流動資本ノ供給ト割引ノ需要トノ割合ニ依リ之ヲ定ムルモノトス故ニ流動資本ノ供給ニ對シ割引ノ請求多キトキハ歩合ヲ高クシ割引ノ請求少クシテ流動資本ノ供給寛ナルトキハ歩合ヲ低クセサルヘカラス此クノ如ク割引歩合ノ高低ヲ定ムルニハ一ニ經濟市場ノ狀況ニ依ルモノニシテ到底人爲ヲ以テ左右スル能ハサル所ノモノナリ故ニ銀行ニシテ能ク經濟市場ノ狀況ニ注意シ割引歩合ヲ高低スルトキニハ一方ニ於テハ生産分配ノ事業ヲ發達セシメ一方ニ於テハ投機ヲ抑壓スルニ於テ其効少シトセス抑モ投機ノ當ニ其萌芽ヲ發セントスルヤ姦商等空手形相互承諾手形ノ類ヲ以テ類リニ手形ノ割引ヲ請求スルニ至ルヘシ之レ所謂資本ノ供給ニ對シ手形割引ノ需要多キモノニシテ此時ニ方リ銀行ハ其歩合ヲ高クセハ投機者梳ハ歩合ノ高キ爲メ投機ノ利ナキヲ思ヒ之ヲ中止スルニ至ルヘシ

以上述フル所ヲ以テ見レハ銀行カ經濟市場ノ狀況ニ從テ割引歩合ヲ變更スルハ生産分配ノ發達ヲ計リ信用ノ調理ヲ爲ス上ニ於テ必要缺クヘカラサルモノト



云ハサルヘカラス然ルニ學者中往々割引歩合平均論ヲ唱フルモノアリ其言フ所ヲ聞クニ曰ク割引歩合ハ均一ナラサルヘカラス若シ然ラサルハ商賈其目的ヲ誤ルノ恐ナキヲ得スト前ニ述ヘタルカ如ク割引歩合ハ手形ノ賣買價格ニシテ其高低ハ需要供給ノ關係ニ因テ定ルモノナレハ割引歩合ヲ均一ナラシメントスルハ恰モ普通ノ物價ヲシテ均一ナラシメントスルニ同シク其妄論タルヤ明ナリ然ルニ更ニ說ヲナスモノアリ曰ク正金ノ輸出ハ貨幣ノ減少ヲ來タシ割引歩合ヲ増加ス故ニ之ヲ矯正センカ爲ニ其輸出高ト等シキ不換紙幣ヲ發行シ以テ其缺クルヲ補ヒ正金ノ戻リ來ルヲ俟テ之ヲ償却スヘント(アリソン)ノ如キ之ヲ唱フ其謬說タルヤ多言ヲ要セス蓋シ正金ノ流出ヲ來ス原因種々アリト雖モ若シ或ル事情ヨリ一國ノ貨幣供給過多ノ爲メ正金ノ輸出ヲ促シタリトセハ此ノ場合ニ同額ノ紙幣ヲ發行シテ之ヲ補充スルニ於テハ貨幣過多ニ伴フ物價ノ騰貴ハ永遠ニ除去スルコトヲ得ス終ニハ一國ノ貨幣ヲ舉テ不換紙幣ヲラシムルニ至ルヘシ

斯ノ如ク割引歩合ハ經濟市場ノ狀況ニ從テ左右スヘキモノニシテ之ヲ人爲的ニ均一セントスルカ如キハ無稽ノ空論ト云ハサルヘカラス然レトモ一國ノ中央銀

行ハ經濟上ノ覇權ヲ握リ金融調和ノ任ニ當ルヘキ職分ヲ有スルモノナルヲ以テ時ニ或ハ一國金融ノ趨勢ニ逆抗シ人爲的ニ割引歩合ヲ定メ一般公益ヲ計ルコトナシトセス例之一國市場ニ於テ資金ノ需要非常ニ起リ普通銀行ノ餘力既ニ盡キ割引歩合將ニ騰貴セントスルトキニ於テモ中央銀行ハ其自己ノ勢力ヲ以テスレハ尙支フヘシト信スルニ於テハ大ニ割引ヲ行ヒ時ニハ制限外ニ紙幣ヲ發行シテ其供給ヲ與ヘ以テ割引歩合ノ激變ヲ防キ經濟社會ノ動搖ヲ防クコトニ注意セサルヘカラス然レトモ世上投機的企業發生ノ兆候現ハル、ニ及ンテハ中央銀行ハ大ニ其割引歩合ヲ引上ケ企業者ヲ警戒シ其企業熱ヲ抑壓セサルヘカラス而シテ投機熱非常ニ熾ニシテ割引歩合ヲ屢々引上クルモ毫モ其効ヲ奏セス恐慌遂ニ來テ銀行會社等ノ支拂ヲ停止スルモノ續出スルニ於テハ中央銀行ハ一方ニ於テハ割引歩合ヲ引上ケ一方ニ於テハ奮テ割引貸付ニ應シ窘迫セル小銀行ヲ救済シ以テ恐慌ヲ鎮壓スルノ策ニ出テサルヘカラス此レ實ニ中央銀行カ非常ノ場合ニ際シテ當然取ラサルヘカラス職分ニシテ若シ此ノ場合ニ於テ中央銀行カ普通銀行ト同シク割引貸付ヲ引縮ルノ策ニ出ツレハ恐慌ハ遂ニ停止スル所ヲ知ラサル



ニ至ルヘシ

此ヲ以テ此ヲ觀レハ銀行ノ割引歩合ハ中央銀行カ其地位及職分ニ基キ其變動ヲ防止スル場合ノ外決シテ人爲的ニ之ヲ左右スヘカラス一ニ經濟市場ノ狀況ニ從テ之ヲ定メサルヘカラス然レトモ中央銀行ハ時ニ外國市場ニ對シ正貨準備ヲ保持スルノ必要ヨリ割引歩合ヲ高低スルコトアリ例ヘハ或ル原因ノ爲メ國內ノ正貨外國ニ流出シ支拂準備ノ基礎ヲ薄弱ナラシメントスルノ傾向ヲ示ストキハ市場ノ狀況如何ヲ問ハス割引歩合ヲ引上ケ一般市場歩合ヲシテ之ニ倣ハシメ以テ正貨ノ流出ヲ防キ同時ニ外國ヨリ正貨ヲ吸收スルカ如シ

#### 第四款 ビルブローカー(手形仲買人)

手形割引ニ關連シテ一言セサル可カラサルハ「ビルブローカー」ニ關スル事ナリ抑モ「ビルブローカー」トハ英國ニ於ケル金融市場ノ特徴トモ云フ可キモノニシテ其業務ヲ研究スルニハ先ツ英國ニ於ケル之カ沿革ヲ探リ以テ今日ノ發達ヲ促シタル所以ヲ知ラサル可カラス

(三)

(三)

手形仲買ノ業務ノ英國市場ニ於テ發達シタル千八百年ノ初期ニシテ當時ニ於テハ單ニ銀行ノ代理者タルニ止リ自ラ戸々ニ就キ割引スヘキ手形ヲ集メ之ヲ銀行ニ持參シ銀行ハ其確實ナルヤ否ヲ調査シ初メテ其手形ヲ買入レタルモノニシテ仲買人ハ手形ニ裏書スルコトナカリキ其後此等ノ手形仲買人ハ漸ク資金ヲ作りタルハ先ツ自己ノ資本ヲ以テ手形ヲ割引シ更ニ資金ヲ要スルニ至レハ其手形ヲ銀行ニ致シ再割引スルコト、ナシタレハ自然手形ニ裏書スルコト、ナリ銀行ハ手形仲買人ノ資産及信用如何ニ準據シテ割引ヲナスニ至レリ後手形仲買人ノ信用愈々増進スルニ追ヒ銀行ハ其游金或ハ其債務ニ對スル準備金ノ一部ヲ「コールマチー」トシテ手形仲買人ニ預ケ手形仲買人ハ之ヲ資金トシテ低利ノ割引ヲナシ以テ良好ナル商業手形ヲ買入レ又銀行ハ信用アル手形仲買人ノ持參スル手形ナレハ單ニ其仲買人ヲ信用シ之ヲ割引スルコト、ナレリ而シテ千八百六十六年ノ恐慌以後ニ於テ手形仲買人ハ此預金ニ對スル擔保トシテ確定ナル手形ヲ銀行ニ預ケ置クコト、ナリ遂ニ今日ノ發達ヲ見ルニ至レリ



銀行制度ノ不完備ニ基クモノ、如シ同國ニ於テハ千七百八十年以來英蘭銀行唯  
リ銀行業事業ヲ獨占シ法律ニ依リ六人以上ヲ以テ銀行事業ヲ營ムコトヲ禁セラ  
レシヨリ小銀行續出シ相率テ英蘭銀行ニ依頼スルノ風ヲナセリ而シテ此等ノ小  
銀行ハ資金ノ需要アレハ英蘭銀行ニ到テ之カ救済ヲ仰キ自ラ預金準備ヲ置クコ  
トナク爭フテ手形ノ買入ニ從事セリ之レ手形仲買人ノ必要ヲ見ルニ至リシ所以  
ニシテ後法律ノ改正アリシト雖モ此ノ慣例ハ永續シ銀行準備金ノ如キモ多ク手  
形仲買人ヲシテ流用セシメタリ之レ英國ニ於テ手形仲買業ノ起リシ原因ナリ而  
シテ之ヲ發達セシメタル主ナル原因トシテハ預金ノ増加ト準備金制度ノ二者ヲ  
推サ、ル可カラス英國ノ銀行巨額ノ預金ヲ有シ自ラ之ヲ貸付割引ニ使用シ尙餘  
リアルニ至リテハ自然手形仲買人ノ手ヲ經テ之ヲ利用セサル可カラサルニ至ル  
又英國銀行ハ巨額ノ預金ヲ有スルヨリ之ニ對スル準備金モ從テ巨額ナラサルヘ  
ガラス此ノ準備金ノ幾部分ハ英蘭銀行ニ預ケ入レラル、ト雖モ其大部分ハ手形  
仲買人ノ「コールマキ」トナルナリ此ニ於テカ手形仲買人ハ巨額ナル財源ヲ有ス  
ルコトヲ得其發達ヲ完成スルニ至リシナリ

之ヲ要スルニ「ビルブローカー」ハ第十九世紀ノ初期英國ニ發達シ其初ハ其名ノ示  
ス如ク銀行者間又ハ銀行ト商工業者トノ間ニ立チ手形ノ割引ヲ周旋シ其間ニ利  
益ヲ得ルニ止マリシカ後ニ至リ自己ノ名義及自己ノ計算ヲ以テ銀行者又時ニハ  
一般公衆ヨリ預金ヲ受ケ手形ノ割引ヲナシ更ニ之ヲ裏書シ銀行ニ致スコト、ナ  
レリ  
然ラハ手形仲買ノ事業カ如何ナル利便ヲ一般經濟社會ニ與フルヤ之レ次ニ研究  
スヘキ問題ナリ  
抑モ手形割引ナルモノハ將來ニ於ケル債務辨濟ノ約束ニ對シ銀行ニ於テ前貸ヲ  
ナスモノニシテ其基礎ハ一ニ對人信用ニアリ然ルニ其商人ノ信用ヲ知悉スル  
ハ極メテ困難ニシテ銀行業者ハ往々之ヲ誤ルコトナシトセス此ノ場合ニ於テ手  
形仲買人ナルモノアリテ毎日市場ニ於テ各般ノ商人ト相會合スルノ機會ヲ利用  
シテ其信用ヲ精査シ以テ其確實ナルモノヲ割引シ更ニ之ヲ銀行ニ致セハ銀行ハ  
安シテ之ニ放資スルコトヲ得ヘシ之レ手形仲買等ノ經濟社會ニ與フル利便ノ一  
也又我國ニ於テハ銀行間ニ於ケル資金ノ流通極メテ不便ニシテ之ヲ疏通スルノ



機關ナシ然ルニ茲ニ手形仲買人アリテ毎日各銀行ト往來スル機會ヲ有セハ何レノ銀行ニハ遊金アリ何レノ銀行ニハ資金缺乏セルヤヲ知り其間ノ融通ヲ計ルコトヲ得之レ其利便ノ二也又地方ト地方トノ間ニ於テ資金ノ疏通ヲ缺ク場合ニ於テモ手形仲買人アリテ金利高キ地ニ於テ手形ヲ買入レ之ヲ金利安キ處ニ於テ賣却シ其差ヲ利シ以テ資金ノ流通ヲ自由ニセハ地方銀行ノ受クル便益ハ極メテ大ナル可シ之レ其利便ノ三也又普通銀行ニ於テハ確實ノ保證アル手形ニアラサレハ割引セサルヲ通例トス然ルニ手形仲買人ハ危險ヲ冒シ劣等ナル手形ヲ取扱フコトアリ又相互競争ノ結果トシテ割引歩合ハ普通銀行ノ課スル割合ヨリモ遙カニ低廉ナリ之レ其利便ノ四也此等ノ利便ハ今日ノ經濟社會ニ於テ「ビルプロカー」ノ業務ヲシテ益發達ノ趨勢ニ向ハシメツ、アル所以ナリ

以上ヲ以テ「ビルプロカー」ニ關スル大體ノ觀念ヲ了得シタルモノトシテ次ニ「ビルプロカー」ニ類似セル二種ノ制度ニ就テ一言セントス其一ヲ割引責任代理店（バンキエーゼスコムタニール）トシ其二ヲ「フォレンプロカー」トス（六）  
割引責任代理店トハ白耳義國立銀行ノ始テ設ケタル制度ニシテ中央銀行カ割引

(七)

ノ爲メ成規ノ條件ヲ具フル手形ヲ得ルノ困難ヨリ或ル確實ナル普通銀行ニ對シ代理契約ヲ結ビ中央銀行ハ其普通銀行ニ資金ヲ供給シ普通銀行ハ自己ノ責任ヲ以テ手形割引ニ從事シ其割引シタル手形ニ對シテハ裏書ヲナシ手形關係人ノ一人トナリ以テ之ヲ中央銀行ニ致スノ方法ニシテ中央銀行ハ其利益ノ一部ヲ割テ之ヲ普通銀行ニ分與スルナリ而シテ手形不渡ノ場合ニ於ケル損失ハ普通銀行ニ歸シ中央銀行ハ之ニ干與セサルモノトス此ノ方法ハ割引依頼人ニ取リテモ亦利便アリ何トナレハ歐洲ニ於テハ中央銀行ノ割引クヘキ手形ハ少クトモ三名ノ署名アルコトヲ要ス然ルニ代理店ニ於テハ二名ノ署名ノミヲ有スル手形ニテモ割引クヲ以テナリ一千九百一年白耳義國立銀行割引責任代理店ノ割引タル手形ハ百九十六萬八千八百九十七枚ニシテ其金額凡四億四千二百餘萬圓ニシテ實ニ同行割引金額ノ殆ト二分ノ一ニ當レリ而シテ其割引料ノ分配ハ中央銀行百七十三萬圓ニ對シ代理店四十三萬圓ニシテ約四ト一トノ割合ナリシト云フ  
「フォレンプロカー」ト稱スルハ外國爲替ノ賣買ヲナスモノニシテ倫敦ニ於テ「ビルプロカー」ヨリ離レテ獨立ノ營業ヲナセリ元來爲替ハ債權者カ手形ヲ作



成シテ之ヲ自己ノ市場ニ於テ賣ルモノニシテ貿易ヲナス二國間ノ債權者ハ何レモ之ヲ振出スコトヲ得ルモノナリ

### 第一節 貸 附

#### 第一款 貸附ノ意義及割引トノ比較

貸付ハ手形割引ニ次テ銀行資金運用ノ一良法ニシテ之ニ因テ經濟社會ノ蒙ムル利便尠カラズ殊ニ我國ノ如ク手形ノ行使尙未タ充分ナル發達ヲ見ス銀行業務中手形割引ノ未タ旺盛ヲ極メサルノ國ニ於テハ到底手形割引ノミヲ以テ資金運用ノ途トナスヲ得ス況ンヤ英國ノ如ク手形ノ行使非常ニ發達セル國ニ於テモ近年往々手形ノ供給充分ナラスシテ貸付ヲ以テスルニ非レハ資金運用ノ途ヲ得ヘカラサルノ状態ヲ示スニ至レルニ於テオヤ挽近英ノウヰリヤム、フオーラーハ英國ニ於ケル手形供給ノ減少ノ理由トシテ(一)近來商工業者ノ富増加シ現金拂ヲ以テ取引ヲナスニ至リ資金ヲ有セサル場合ニハ銀行ヨリ貸付ヲ受ケ成ル可ク現金拂ヲナスヲ以テ利益ナリトスルニ至レルコト(二)銀行ニ於テモ割引ヲナスヨリモ貨

(八)

付ヲナス方費用少ク且利率高キヲ以テ之ヲ好ムノ傾向ヲ生セシコト(三)近來各銀行ニ於テ預金著シク増加シ之ヲ割引事業ニノミ使用シ盡ス能ハサルコト等ヲ舉ゲタリ

(二)

要スルニ現今ニ於テ銀行ハ其資金運用ノ途ヲ手形割引ノ一途ニノミ求ムルヲ得ス之ヲ貸付ニ使用セサル可カラサルハ明ナリ殊ニ貸付ノ需要ハ割引ノ需要ト其原因ヲ異ニシ貸付ハ其獨特ノ利益ヲ經濟社會ニ附與スルモノナリ今左ニ貸付ノ利益トシテ一般ニ認メラル、諸點ヲ略述スヘシ

(一)貸付ハ新ニ事業ヲ起シ又ハ既成ノ事業ヲ擴張スルニ方リ資金ヲ供給ス割引ハ前ニ述ヘタル如ク既ニ生産セラレタル貨物ノ運轉ニ資スルヲ以テ目的トスルモノニシテ新事業ヲ起シ又ハ既成事業ノ擴張ヲナス場合ニ於テハ到底其資金ハ貸付ニ依リテ得サル可カラズ

(二)貸付ハ無資産者ニシテ尙事業ヲ企ツルコト得セシム所謂經濟的分業ニ基キ資本家及企業家ノ階級ヲ生シ無資産ノ企業家モ尙信用ニ依リ資本ヲ得有利ノ事業ニ從事スルコトヲ得社會經濟ノ進歩ヲ促ス



(三) 貸付ハ割引ノ如ク穩密ナル注意ヲ要セス  
 手形割引ヲナスニハ前ニモ述ヘタル如ク頗ル穩密ナル注意ヲ要シ手形關係人ノ  
 性質資力及ヒ信用等ヲ詳ニシ以テ其可否ヲ決シ又割引歩合モ時々上下シ以テ信  
 用ヲ調理セサルヘカラサルニ反シ貸付ニ於テハ唯借主ノ性質ト其抵當物ノ如何  
 ニ注意スルヲ以テ足ル何トナレハ割引ノ場合ニハ一旦手形ノ不渡トナルトキ其  
 負擔ハ往々銀行ニ歸スルコトナントセサレトモ貸付ノ場合ニ於テハ借主ニ於テ期  
 限ニ返濟ヲ怠ルモ豫メ徴シタル抵當ヲ以テ其損失ヲ補フコトヲ得ヘケレハナリ

(四) 貸付ハ一般社會ノ福利ヲ増進ス  
 前ニ述ヘタル如ク貸付ハ有爲ノ士ニシテ資力ナキモノニ生業ヲ與ヘ有望ナル產  
 業家ヲシテ其事業ヲ擴張セシムルノ結果産業ヲ振興セシメ物價ハ低落シ賃銀ハ  
 騰貴シ從テ國民ノ富ヲ増殖シ一般公衆ノ福利ヲ増進ス  
 此ヲ以テ見レハ貸付ハ割引ト相俟テ多大ノ利益ヲ經濟社會ニ與フルモノニシテ  
 各々其長所ヲ有スルモノナリ併シ乍ラ銀行事業トシテ貸付及割引カ如何ナル狀  
 態ノ下ニアルヤハ自ラ別個ノ問題タラサルヲ得ス請フ少シク之ヲ論セン

(三)

一 割引ニ於テハ前ニモ論シタル如ク手形ノ期限中ト雖モ銀行ニ於テ資金ヲ要  
 スルトキハ之ヲ再割引シテ其資金ヲ得ヘク且又確實ナル手形ハ期限ニ於テ必ス  
 元金回收アルヲ以テ資本ヲ固定スルノ恐ナキニ反シ貸付ニ於テハ期限ニ非レハ  
 資金ノ返濟ヲ得スヨシ期限來ルトモ繼續ヲ請求スル場合多ク又其抵當品ノ所分  
 ニ對シテモ困難少カラス

二 ヤクラウドノ云フ如ク割引ハ利子ヲ前取リスルノ實アルモノナレハ同一歩  
 合ヲ以テ割引ヲナスト貸付ヲナストニ於テハ割引ノ方遙ニ貸付ヨリモ利益多シ  
 隨テ割引歩合ハ貸付歩合ヨリモ低キコトヲ得又銀行カ紙幣ヲ發行スル場合ニ於  
 テモ割引ノ場合ニ於テハ貸付ノ場合ヨリモ少額ノ發行ニ依リ需要ヲ充スコトヲ  
 得

三 割引クヘキ手形ハ已ニ貨物ノ生産アリテ之ニ對シテ振出サレタルモノナレ  
 ハ其貨物ノ消費サル、頃ハ即チ手形ノ支拂期限ナレハ手形ニシテ真正ナルモノ  
 ナル以上ハ不渡トナル場合ハ極メテ少シ反之貸付ハ新事業及投機維持等ノ爲ニ  
 スルモノ多キヲ以テ貨物未タ生産セラレサルニ先チ貨幣市場ニ出テ往々事業ノ



失敗又ハ投機ノ不成功ノ爲メ銀行ノ損失ニ歸スルコトナシトセス

四 隨テ割引ニ依ル資金ハ貨物ノ消費セラル、頃ニ至テ手形ノ支拂トナリ回收セラル、モノニシテ貨幣ノ流通其需要ニ從ヒ展伸張弛スルコトヲ得ヘキモ貸付ニ依ル資金ハ貨物ノ生セサル以前ニ於テ市場ニ出ツルモノナレハ自ラ物價ノ騰貴ヲ來スコトナシトセス從テ其事業ヲ完成スル能ハサルノ結果銀行ノ損失ヲ來スコトアリ

五 貸付ハ割引ニ比シ銀行ニ取リテ取扱上證書及擔保物ニ關スル種々ノ不便アルノミナラス金融緩慢却テ資金ノ需要ヲ求ムル際ニ返濟セラレ金融活潑益々資金ノ供給ヲ要スル時ニ引出サル、ノ恐アリ

### 第一一 款 貸附ノ種類

貸付ヲ分テ普通貸付又ハ擔保貸付、保證貸付、信用貸付、當座貸越、及ヒ「コールローン」ノ五種トス以下頂ヲ分テ説明スヘシ

(四)

### 第一 項 普通貸付又ハ擔保貸附

(五)

普通貸付又ハ擔保貸付トハ銀行カ債務者ヨリ擔保物ヲ取り相當ノ利率及返濟期限ヲ定メテ貸付クルモノヲ云フ茲ニ所謂擔保物トハ「コールラテラルセキユルチー Collateral Security」ト稱スルモノニシテ唯債務者カ其義務ヲ履行セサル場合ニ備フルノミ銀行カ貸付ヲナスハ債務者ノ信用及辨濟ノ能力ヲ確實ニシタル後其人ニ對シテナスモノニシテ尙ホ割引ト同シク對人信用ヲ基礎トセサル可カラサルモノナリ其擔保物ヲ徵スルハ單ニ其萬一ニ備フルニ外ナラスシテ此ノ點ニ於テ貸付ハ對物信用ヲ基礎トセル質貸業ト異ルマクレオツドカ銀行業者ニシテ初メヨリ擔保物ヲ賣却スルノ意思ヲ以テ貸付ヲナスモノナシト云ヒシハ蓋シ此意味ヲ表白シタルモノナリ

方今貸付ノ擔保物トシテ主ニ用ヒラル、モノハ公債證書、諸會社ノ株券、債券、船荷證券、倉庫證券、其他不動産及諸商品等ナリ而シテ此等ノ擔保物ハ銀行カ貸付ヲナスニ當リ「コールラテラルセキユルチー」トシテ徵シ置クト雖モ單ニ占有スルニ止リ



其所有權ハ依然債務者ニ屬スルヲ以テ銀行ハ貸付ノ契約ヲ結フト同時ニ債務不履行ノ場合ニ於テ其擔保物ヲ處分スルコトヲ得ル爲メ豫メ其手續ヲ了セサルヘカラス例之會社記名債券ハ其會社ノ帳簿ニ登記セサレハ質權設定ノ効力ヲ生セサルハ一般立法例ノ認ムル所ナリ併シ作ラ記名株券ハ之ト異リ此等ノ手續ヲ要セス交付ノミニ依リ第三者ニ對シ質權設定ノ効力アルモノトセリ(民法第三六四、三六五參照)而シテ此等ノ各種ノ擔保物カ如何ナル特質ヲ有スルヤハ特ニ研究ノ價値アルモノト信ス

### 一 不動産

抑モ地所建物等ノ不動産ハ平日ト雖モ動産ノ如ク容易ニ賣買スルコト能ハサルモノナレハ一旦金融市場ニ異狀ヲ呈スルコトアレハ急ニ之ヲ賣却スルコト能ハス強テ之ヲ賣却セントセハ其價格ハ非常ニ低落スルヲ以テ銀行ハ損失ヲ招クコトヲ覺悟セサル可カラス從テ此等不動産ニ對シテ放下シタル資本ハ自然固定スルノ傾アリ故ニ資本ヲ永久ニ放下スルコトヲ以テ目的トスル勸業銀行ノ如キニ於テハ土地家屋等ヲ以テ抵當トスル貸付モ敢テ利ナキニ非ルモ普通商業銀行ノ

如ク急速ニ資本ヲ運轉シ且ツ何時ニテモ支拂ヲナサ、ルヘカラサル預金義務ヲ有スルモノニ於テハ不動産ハ擔保物トシテ尤モ不可ナルモノナリ

### 二 株券

諸會社ノ株券ヲ擔保トシテ取得スルトキハ其株券記名ナレハ名前書換ノ順序ヲ經サレハ債務者破産ノ場合ニ於テ貸金ノ辨濟ヲ得ル能ハス何トナレハ債務者破産ノ場合ニ於テハ其全財産ハ總債權者カ債權ヲ充當スヘキ目的物トナリ銀行ハヨシ擔保トシテ之ヲ占有スルモ銀行ノミニ債權ニ充當スルコト能ハサレハナリ之ヲ立法例ニ徵スルニ歐洲諸國ニ於テハ會社ノ記名株券ハ其會社ノ帳簿ニ登記セサレハ質權設定ノ効力ヲ生セス然レトモ我民法ニ於テ特ニ株券ニ限り此ノ手續ヲ要セス單ニ其交付ノミニ因リテ質權設定ノ効力ヲ生スルモノトセリ(民法三六四第二項)此ノ規定ハ第三者保護ノ點ニ於テハ大ニ缺クル所アレトモ銀行ニ取リテハ極メテ利益アル規定ナリ然ルニ此クノ如クシテ銀行カ諸種ノ株券ヲ有スルニ於テハ間接ニ銀行ハ往々會社ノ株主トナリ時ニハ債務不履行等ノ結果ヨリ銀行ハ眞ノ株主トナリ遂ニハ銀行事業ト利害關係ヲ異ニセル商工業會社ノ株主



トナルノ結果ヲ生シ種々ノ弊害ヲ惹起スルコトナシトセス  
要スルニ擔保物トシテノ株券ハ銀行ニ取りテ有益ナル放銀ノ方法ト謂フヘカラ  
ス

### 三 債券

債權ヲ以テ質權ノ目的物トナスニハ其記名債券ノ場合ニハ必ス會社ノ帳簿ニ登  
記スルコトヲ要スルハ一般立法例ノ認ムル所ニシテ我民法第三六五條モ明ニ之  
ノコトヲ規定セリ而シテ諸會社ノ社債券ハ價格變動常ナラサルモノニシテ銀行  
ハ債務者カ債務不履行ノ場合ニ之ヲ賣却スルニ當リ價格下落ヨリ生スル損失ヲ  
招クコトナシトセス故ニ社債券モ擔保物トシテ良好ナルモノト謂フ可カラサル  
モ株券ニ比シテハ一日ノ長アルモノト言ハサルヘカラス何トナレハ銀行力之ヲ  
取得シタル場合ニ於テ株券ノ如ク種々ノ責任ヲ生スルコトナケレハナリ

### 四 船荷證券倉庫證券

此種ノ證券ハ通常指圖式ニシテ質權ヲ設定スルニ當テハ單ニ裏書ヲ爲スヲ以テ  
足レリトシ發行者ノ帳簿ニ其旨ヲ記入スルノ手續ヲ要セサルノ便益アレトモ其

(八)

代表スル商品ノ性質ニシテ品質及價格ノ變動少ク且ツ居常頻繁ニ取引セラル、  
モノナラサルトキハ銀行ハ其貨物ノ賣却ニ付キ一種ノ投機ヲ營マサルヘカラサ  
ルノ結果ヲ生スルコトナシトセス

### 五 商品

前ニ述フル如ク商品ノ性質ニシテ平常頻繁ニ賣買セラレ且ツ其價格ノ變動激甚  
ナラサルモノニアラサル以上ハ決シテ擔保物トシテ適當ナルモノト云フ可カラ  
ス殊ニ銀行カ商品ニ對シ貸付ヲナスニハ商品ニ關スル智識ヲ有スル専門家ヲ要  
スルノミナラス此等商品ヲ收容スル所ノ相當ノ倉庫ヲ有セサルヘカラサルノ不  
便アリ

### 六 公債證券

公債證券ハ政府又ハ地方團體ノ發行スル債券ニシテ國家又ハ地方團體ノ信用ハ  
諸會社ノ信用ヨリモ大ナルモノナレハ公債證券ノ價格ハ通常債券ニ比シテ變動  
少ク且ツ賣却ニ容易ナリ殊ニ大藏省證券ノ如キハ我國現行ノ法ニ從ヘハ三ヶ月  
乃至九ヶ月ヲ以テ期限トスルモノナレハ之ニ資本ヲ投スルモ素ヨリ固定スルノ

(九)



患ナク其期限ニ於テ支拂ヲ受クルコトハ極メテ確實ナルモノナリ  
 要之公債證書ハ擔保物トシテ尤モ良好ナルモノト云ハサルヘカラス  
 方今我國ニ於テ擔保割引ト稱シ擔保ヲ徵シテ手形ノ割引ヲナスモノアリ英國ニ  
 於テモ地方銀行ハ公債證書其他諸種ノ債券、株券、商品等ヲ擔保トシテ約束手形ノ  
 割引ヲナスコトアリ之ハ割引ト稱スレトモ其實ハ擔保貸付ノ一種ト認ムヘキモ  
 ノナリ

### 第二一頂 保證貸付

保證貸付トハ銀行カ債務者トノ契約ニ依リ確實ナル保證人ヲ得一定ノ範圍ヲ限  
 リ其限度内ニ於テ債務者ヲシテ自由ニ金錢ヲ引出スコトヲ得セシムルモノニシ  
 テ債務者ハ其引出シタル額ニ對シテノミ利子ヲ支拂ヒ又隨意ニ引出高ノ全部又  
 ハ一部ヲ辨濟スルコトヲ得ルモノナリ故ニ保證貸付ノ特質ハ(一)普通貸付ノ如ク  
 普通擔保物ヲ要セサルコト(二)期限内ニ於テ金錢ヲ得ルコトアレハ隨テ之ヲ返濟  
 シ徒ニ利付ノ金ヲ借り居ラザルコト及(三)時々小額宛ノ金錢ヲ要スル場合ニハ其

(一〇)

(一一)

都度之ヲ銀行ヨリ借り普通貸付ノ場合ノ如ク一時ニ多額ノ金錢ヲ借り利子ノ損  
 失ヲ招クコトナキコトニ存ス

論シテ茲ニ至レハ保證貸付ハ頗ル當座貸越ト酷似スルノ觀アリ余ノ觀ル所ヲ以  
 テスレハ兩者ハ實質ニ於テハ毫モ異ナル所ナク唯形式ノ上ニ於テ二個ノ差異ヲ  
 發見スルコトヲ得一ハ保證人ノ有無ニシテ一ハ當座貸越ニアリテハ既ニ當座勘  
 定ヲ存シ預金以上ノ引出ニ於テ特ニ銀行ノ許可ヲ受クルモノナレトモ保證貸付  
 ニアリテハ貸付其物ニ因リ勘定ヲ開始スルト云フコト也

抑モ保證貸付ノ法ハ第十八世紀ノ初期スユットランドニ於テ發明セラレシモノ  
 ニシテ爾來沿ク全國ニ行ハル、ニ至リ大ニ商工業ノ發達ヲ補ケ又青年立身ノ基  
 ヲナセシコト少カラス極メテ有要ノ制度タルハ言フ俟サレトモ銀行ノ業務トシ  
 テ普通學者ノ唱フル欠點ハ大略左ノ二點ニアリ

一、保證貸付ニ依リテ金錢ヲ融通シタルトキハ急ニ之ヲ回收スルコト能ハス之  
 レ保證貸付ヲ受クル者ハ悉ク頻繁ナル取引ヲナス商工業者ト云フ能ハサルニ依  
 ル可ク又割引ノ場合ノ如ク資金ヲ要スルトキハ何時ニテモ再割引ノ法ニ依リテ



融通ヲナスノ便ヲ欠クニ基カサル可カラズ  
 二、取付又ハ恐慌ノ起リタル場合ニ多數ノ保證借主カ一時ニ其約束金額ノ引出  
 ヲナストキハ銀行ハ爲メニ支拂停止ヲナス場合ナシトセス然ルニ普通貸付又ハ  
 割引ノ場合ニ於テハ市場回復シ取付鎮定スルニ至ル迄之ヲ引縮ムルコトヲ得ヘ  
 シ

### 第三項 信用貸付

信用貸付トハ債務者ノ對人信用ニ基キ資金ヲ貸付クルモノニシテ此種ノ貸付ハ  
 擔保物ヲ徵スルコトナク又保證人ヲ要スルコトナキノ利便ヲ有シ理論上極メテ  
 進歩セル貸付制度タルハ疑ヲ容レヌト雖モ人事ノ變動ハ常ナラサルモノニシテ  
 特ニ經濟上ニ於ケル桑海ノ變ハ毫モ稀有ノコトニアラサルヲ以テ非常ナル危險  
 ヲ犯スノ覺悟ナキ以上ハ信用貸付ハ銀行者ノ爲メニ良好ナル放銀ノ法ニ非ルハ  
 固ヨリ其所ナリ

(一一三)

### 第四項 當座貸越

當座貸越トハ銀行ニ當座勘定ヲ有スル者カ豫メ契約ニ依リ根抵當ヲ供シ一定金  
 額ノ範圍内ニ於テ小切手ヲ振出シ銀行ヨリ支拂ヲ受ケ其支拂ハレタル額ニ對シ  
 テノミ利子ヲ拂フモノナリ此ノ點ニ於テ當座貸越ハ一種ノ擔保貸付ニ屬ス  
 此ノ制度ハ性質上前ニ述ヘタル保證貸付ニ酷似シ債務者カ自由ニ引出ヲナシ又  
 ハ返済ヲナスノ利便アントモ金融必迫ノ際資金ノ引出サル、憂多ク遂ニ恐慌ヲ  
 惹起スルノ原因トナルコトナシトセス

(一一三)

### 第五項 コールローン

「コールローン」Call Loanトハ銀行ノ請求次第何時ニテモ返済スヘシトノ契約ヲ以  
 テ銀行カ其借主タラントスル者ニ對シ擔保ヲ徵シテ爲ス所ノ低利貸付ニシテ往  
 々「コールマター」又ハ「マター」アットコールナル名稱ノ下ニ歐米ニ於テ盛ニ行ハル  
 ヲモノナリ



「コールローン」ノ資金ハ概テ銀行準備金ヲ以テ之ニ充ツ蓋シ準備金運用ノ必要ハ急激ニ生スルモノニ非スシテ之ヲ豫知シ得ヘキモノナレハ其必要ノ現象發生次第銀行ハ債務者ヨリ之ヲ請求シ其變ニ應ツルコトヲ得レハ銀行ハ一方ニ於テハ準備金濫用ノ危険ヲ招クコトナク又一方ニ於テハ準備金ヲ死藏スルノ不利ヲ避クルコトヲ得ルヲ以テ近來内外ノ事業益々發達シ取引愈々敏活ヲ加フルノ世ニ於テハ「ビルプロカー」又ハ取引所仲買人等ニ對シテナス所ノ「コールローン」ノ業務カ日ニ旺盛ヲ來スハ洵ニ自然ノ數ナリ

### 第三節 公債證書、株券、債券及金銀等ノ買入

銀行資金運用ノ方法トシテ論スヘキモノハ前二節ニ於テ研究シタル手形割引及ヒ貸付ノ二者ニアリト云ハサルヘカラス然レトモ銀行ハ往々其資金ヲ割引及貸付ニ使用シテ尙餘裕アル場合ナシトセス此ノ時ニ方リ銀行ハ他ニ有利ノ放銀法ヲ發見スルニ非スンハ徒ニ巨額ノ資金ヲ死守シ意外ノ損失ヲ招クコトアリ何トナレハ銀行カ有スル株式ニ對シテ配當ヲナスノ義務及預金ニ對シテ利子ヲ支拂フ

ノ義務ハ資金ノ完全ニ運用サル、ト否トニ拘ハラズ絶對ニ存在スヘキモノナレハナリ此ニ於テ乎銀行ハ其餘裕ノ資金ヲ以テ公債證書株券債券及ヒ地金銀等ヲ買入レ利殖ヲ計ルノ必要ヲ生スルニ至ル併シ乍ラ銀行ニ資金ノ餘裕アル時ハ往々金融緩慢ナルノ際ナルヲ以テ公債證書等ノ價格ハ騰貴ノ傾向ヲ有シ又銀行カ公債證書等ヲ賣却シ正金ヲ得ントスルトキハ金融必迫ヲ告クルノ場合ナレハ其價格ハ下落ノ傾向ヲ有スルモノナルヲ以テ銀行ハ高キニ求メ低キニ放ツノ不利益アリ且ツ公債證書株券債券等ノ賣買ハ其性質投機的ナレハ此等ノ事業ニ放資スルハ絶對的ニ利益ヲ豫期シ難ク其割引貸付事業ニ比シテ効果ノ少キハ多言ヲ要セサルナリ之レ割引貸付ノ爲ニ資金ヲ運用シ尙多大ノ餘裕アル場合ニ限り此ノ放銀方法ヲ用フト云フ以ナリ

#### 第一款 公債證書ノ買入

割引及貸付以外ノ放銀法トシテ公債證書ノ買入ハ稍安全ノ域ニアルモノト云フヘシ何トナレハ公債證書ハ一國內ニ於テ最高ノ信用ヲ有セル政府ノ發行スルモ



ノニシテ其價格ハ比較的ニ變動少ク且ツ之ヲ賣却スルニ於テモ敢テ困難ヲ感スルコトナク又其所有者ハ株券所有者ノ如ク責任ヲ生スルニモアラス殊ニ公債證書中大藏省證券ノ如キハ其賣買ハ尤モ自由ニシテ期限モ短期ノモノナルヲ以テ當初ヨリ支拂ノ期日ヲ豫期スルコトヲ得資本ヲ固定スルノ患ナシ故ニ大藏省證券買入ハ公債證券ノ買入中ニ於テモ就中良好ナルモノナリ

公債證券カ株券社債券等ニ比シ其價格ヲ維持スル力ノ比較的強大ナルコトハ一九〇一年獨乙ニ於ケル恐慌ノ際株式ノ價格下落セシ際ニ方リ唯々公債證券ノ價格下落セサリシニ徴シテモ明ナレトモ一度激烈ナル恐慌ノ起ルニ追ンテハ世人一般ニ之ヲ賣却セントシ價格ノ急ニ下落スルコトモ稀有ノコトニアラサレハ之ヲ以テ絶對ニ安全ナルモノト云フ能ハス加之銀行ニシテ巨額ノ公債證券ヲ所有セハ自己ノ一舉一動ハ其價格ニ影響ヲ及ホスヲ以テ時ニ之カ投機賣買ヲナスノ恐ナシトセス之レ銀行カ所有スヘキ公債證券ノ額ニ制限ヲ設クヘントノ說ヲ唱フルモノアル所以也

(一六)

之ヲ要スルニ手形割引及貸付ヲ除キ銀行カ放資スヘキ方法中比較的安固ナルハ

公債證券ノ買入ニシテ公債證券ノ買入中大藏省證券ノ買入ヲ以テ尤モ利益アルモノトスルハ一般學者ノ一致スル所ナルカ如シ

### 第一欸 社債券ノ買入

會社ノ信用ハ政府ノツレニ比シテ劣等ナル言ヲ俟タサル所ニシテ從テ其會社ノ發行スル債券ノ價格ノ變動ノ大ナルモ亦明ナリ故ニ銀行カ放資ノ方法トシテ社債券ヲ買入ルハ公債證券ノ買入ニ比シテ不利益ナルモノト云ハサルヘカラス

### 第二欸 株券ノ買入

銀行ニシテ會社ノ株主トナルハ會社ノ債權者トナルヨリモ危險多シ何トナレハ會社ノ債權者ハ會社ノ利益ニ對シ第一順位ノ優先取得權ヲ有スルヲ以テ利益ノ小許ナル場合ニ於テハ會社利益ノ全部ヲ債權者ニ支拂ヒ株主ハ何等ノ配當ヲ受クルコトヲ得サル場合ナシトセサレハナリ隨テ其價格ノ變動ハ社債券ニ比シテ激甚ナルヲ常トス果シテ然ラハ銀行カ其資金ヲ株券ニ投スルハ一種ノ投機ヲ營



ト云フモ不可ナシ且又銀行カ諸會社ノ株券ヲ巨額ニ買入ルトキハ其會社ニ對スル利害關係ヲ感スルコト甚シク時ニ其本來ノ銀行業務ヲ省ミサルノ結果ヲ生スルハ往々實例ノ示ス所ナリ

### 第四款 地金銀ノ買入

預金準備又ハ兌換準備トシテ銀行カ地金銀ノ買入ヲナスハ銀行ノ基礎ヲ鞏固ニスル所以ニシテ極メテ必要ノ事ニ屬スルト雖トモ單ニ銀行カ利益ヲ營ム爲メ本來ノ業務ヲ縮少シテ迄地金銀ノ賣買ヲナスハ固ヨリ其可ナル所以ヲ知ラサル也

又銀行ハ外國貨幣兩換ノ爲メ又ハ造幣依頼人ノ爲メ金銀ヲ買得スルコトアリ前者ニ於テハ外國貨幣ヲ有スル者ノ爲メ之ヲ内國貨幣ト交換シ後日外國貨幣ノ需要アルトキニ之ヲ賣却シ多少ノ手数料ヲ利スルモノナリ後者ニ於テハ地金銀或ハ外國貨幣ヲ有スル者ニシテ貨幣ヲ得ントスルモノアルトキハ之ヲ造幣局ニ送ラザルヲ得ス故ニ送付ノ日ヨリ貨幣交付ノ日迄ハ貨幣ノ使用ヲ失スルヲ以テ之

(三)

(三)

カ爲ニ一便法ヲ設ケ造幣依頼人ハ之ヲ銀行ニ送り一定ノ價格ヲ以テ之ヲ銀行ニ賣却ス故ニ此ノ場合ニ於ケル銀行ハ地金銀手形ヲ割引シタルノ狀アリ以上ノ二法ハ寧ロ銀行ノ利害ヨリ打算セスシテ一般公衆ノ利便ヲ計ルノ目的ニ出テ銀行ニ取リテ危險ナキモノナレハ銀行附隨ノ事業トシテ之ヲ行フモ素ヨリ不可ナルコトナシ

## 第三章 準備金

### 第一節 準備金ノ性質

銀行ハ資金トシテ資本金株金預金及兌換銀行券ノ三種ヲ有スルコトハ前ニ述ヘタルカ如シ而シテ銀行カ之ヲ運用スルノ方法トシテ手形割引貸付及ヒ有價證券地金銀等ノ買入ヲナスコトモ既ニ論シタルカ如シ併シナガラ銀行ハ之等ノ資金ヲ舉テ割引以下ノ方法ニ依リ運用スル能ハス何トナレハ銀行ハ預金者ニ對シテハ其請求ニ應シ拂戻ヲナサ、ルヘカラス又紙幣所有者ニ對シテハ其請求ニ依リ之ヲ正貨ト交換セサル可カラサレハナリ故ニ銀行ハ之等ノ需要ニ應スル爲メ一



種ノ基金ヲ有セサルヘカラス之ヲ準備金ト云フ  
前ニ述ベタル如ク銀行ハ株式ニ對シテハ配當金ヲ支拂ハサルヘカラス預金ニ  
對シテハ利子ヲ支拂ハサルヘカラス又場合ニ依リテハ紙幣ニ對シテ租稅ヲ支拂  
ハサルヘカラス然ルニ準備金ハ元則トシテ之ヲ死藏スルノ外ナキモノナレハ勿  
論何等ノ利子ヲ生スヘキモノニアラス從テ其額巨大ナルニ於テハ銀行ノ利益ヲ  
減少スヘキハ固ヨリ其所ナリ  
要スルニ準備金ノ必要ナルコトハ今日何レノ學說ニ於テモ等シク認ムル所ナレ  
トモ其之ヲ要スル程度ニ於テハ自ラ學說ノ一致シ難キ所ナリ若シ其額ニシテ過  
少ナルトキハ市場ノ變動ノ爲メニ割引歩合ハ急劇ノ變動ヲ生セサルヲ得ズ又不  
測ノ變ニ應スル能ハサルノ虞ナシトセス反之其額過大ニ失スレハ銀行ノ利益ヲ  
減少スル虞アリ是ニ於テカ準備金ノ大小ハ銀行業者カ自己ノ利益ノ衝突ヲ調和  
スル喫子トシテ銀行ノ位置業務ノ性質顧客ノ職業其他銀行債權ノ狀態如何ニ依  
リテ決セラル、モハニシテ豫メ一定ノ標準ヲ以テ之ヲ規定スル可カラサルナリ  
例之預金準備ハ銀行ノ顧客ニシテ主トシテ農業者ヨリナルモノトスレハ其預ケ

(四)

入レ引出ハ一定ノ時期ヲ有スルモノニシテ即チ收穫ノ後ハ預金増加スヘク播種  
手入草取肥料ノ施用及ヒ納稅ノ時期ニハ引出多カルヘシ故ニ其引出ノ時ヲ注意  
シテ準備シ置キ其他ノ時ニ於テハ之ヲ有利ノ事業ニ放下スルモ敢テ不可ナルコ  
トナシ其他商人ヲ顧客トスルモノ政府預リ金ヲ多額ニ有スルモノ又ハ英國ノ如  
ク中央銀行カ他銀行ノ準備金ヲ預カル制度ヲ有スルモノ等各其性質ニ依リ宜シ  
ク時期ヲ區分シ準備金ヲ増減スヘキモノナリ  
ハンケールハ銀行ノ準備金ハ預金ノ三分ノ一ヲ以テ適度トセリダンバー亦然  
リ米國々立銀行條例ハ紙幣及各種ノ預金ニ對シ其所在地ニヨリ準備金ハ百  
分ノ十五乃至百分ノ二十五タルヲ要ストセリ  
以上預金準備ニ就テ述ヘタルコトハ紙幣準備ノ場合ニ於テモ適用スルコトヲ得  
ヘシ併シ乍ラ紙幣ハ發行者ノ信用確實ニシテ外國貿易其權衡ヲ失ハス且ツ外國  
ヘ送金ヲ要スルノ原因ナキニ於テハ苟モ紙幣發行高ニシテ一國ノ需要高ヲ超過  
セサル以上ハ紙幣交換ノ需要ヲ生スルコトナキヲ以テ紙幣準備ハ平日ニアリテ  
之ヲ巨額ニ備フルノ必要毫無アルコトナシ只預金準備ノ如ク其必要ニ應シテ豫

(五)



メ之ヲ増減スル注意ヲ怠ラサルヲ以テ可ナリトス

### 第一節 銀行準備金制度

銀行準備金ノ制度ニ二種アリ一ヲ聚合法ト云ヒ一ヲ分離法ト云フ前者ハ主トシテ英國ニ於テ採用スル所ニシテ總テノ銀行ガ各自ニ準備金ヲ有セスシテ之ヲ中央銀行ニ預入ルルヲ制度ヲ云ヒ後者ハ專ラ北米合衆國ニ於テ行ハル、所ニシテ諸銀行各別ニ其準備金ヲ有シ準備金ニ就テハ毫モ中央銀行ト關係ヲ存セサルノ制度ヲ云フ

此ノ二個ノ制度ハ各利害得失アリテ一概ニ其優劣ヲ判スヘカラス請フ少シク之ヲ論ズルニ從ヘハ諸銀行ハ各自其準備ヲ蓄ヘス之ヲ擧ケテ中央銀行ニ預ケ中央銀行ハ悉ク之ヲ貯藏スルコトヲナサズ其大部分ハ普通ノ預ケ金ト同シク之ヲ運用スルヲ以テ國家ノ生産分配ノ業ヲ補助スルコト大ナル而巳ナラス諸銀行ニテハ若シ各自準備トシテ蓄ヘ置クトキハ何等利殖ヲ送ナキ金錢モ之ヲ中央銀行ニ預

ケルトキハ多少ノ利子ヲ得ヘクシテ若シ又預金引出ノ請求増加スル場合ニハ之ヲ引出シ以テ其急ニ應スルヲ得ヘシ其他聚合法ノ準備金ハ其額大ナルヲ以テ分離法ノ準備金ニ比シ其預金等ニ對スル比例ハ却テ小ナル場合ト雖トモ之ニ對スル世人ノ信用ハ比較的大ナルモノナリ

以上ハ聚合法ノ利益トシテ一般ニ認メラル、所ナルカ元來聚合法ノ制度タル小額ノ準備金ヲ以テ巨大ノ信用ヲ支フルモノナレハ信用ノ基礎ヲシテ鞏固ナラシムルコト能ハス中央銀行ヲシテ貨幣市場ノ小變動ニ感應スルコト一層甚シキニ至ラシメ屢々利子歩合ヲ變動セシムルノ缺點アリ即金融必迫信用紊亂ノ場合ニ於テ諸銀行ガ中央銀行ニ向ヒ最後準備ノ引出ヲ請求スルニ方リ急ニ其散布スル所ノ貨幣ヲ聚合セシムルコト能ハスシテ中央銀行ハ其利子歩合ヲ激増シ尙且貨幣ヲ吸收スルコト能ハサルハ屢々史上ニ散見スル所也  
之ニ反シ分離法ノ下ニ於テハ諸銀行ハ金融必迫ノ場合ニ於テモ大概各自ノ準備金ヲ以テ之ヲ支フルコトヲ得ヘキカ故ニ聚合法ノ場合ノ如ク割引歩合ニ激變ヲ見ルコト尠シ而シテ恐慌漸ク激甚ヲ加フルニ至リテハ始メテ中央銀行ノ力ニ



俟タサル可カラサルヲ以テ中央銀行ハ初メヨリ割引歩合ヲ激増スルコトヲ要セ  
 ス市場ノ狀況ニ從ヒ徐ニ其利子歩合ヲ増加セハ以テ市場ニ劇變ヲ與フルコトナ  
 クシテ恐慌ニ備フルコトヲ得ヘシ之レ分離法ノ長所トスル所ナレトモ聚合法ノ  
 長所トシテ數ヘラル、所ハ悉ク分離法ニ於テハ欠如セル所ニシテ例ヘハ巨額ノ  
 貨幣ヲ貯藏シテ之ヲ利殖ノ爲ニ運用セサルヨリ生スル不利益及諸銀行ノ有セル  
 準備金ハ其預金等ニ對スル比例ノ如何ニ拘ハラヌ之ヲ各別ニ見ルトキハ其額大  
 ナラスシテ世人ノ信用ヲ繋クニ足ラサルカ如キコト之レナリ  
 之ヲ要スルニ聚合法ハ流通資本ヲ増加スルノ利益アルト共ニ市場ノ變動ヲ激甚  
 ナラシムルノ不利益アリ分離法ハ資本ヲ死藏スルノ不利益アルト共ニ貨幣市場  
 ノ變動ヲ少カラシムルノ利益アリ

#### 第四章 爲替

##### 第一節 爲替ノ意義

爲替トハ自己ニ對シテ債務ヲ負フ者ニ命シテ其金額ヲ自己ノ債權者ニ支拂ハシ

(八)

ムルノ方法ヲ云フ今了解ヲ容易ナラシメンカ爲ニ例ヲ以テ之ヲ示サシニ東京ノ  
 甲ハ京都ノ乙ヨリ或商品ヲ買入レ其代金ヲ支拂ヌニ當リ豫テ京都ノ丙ハ送リタ  
 ル商品ノ代金ヲ以テ丙ニ命シテ乙ニ支拂ハシメンカ爲メ丙宛ノ爲替手形ヲ作成  
 シ之ヲ乙ニ送付シ支拂ヲ受ケシムルカ如シ  
 以上ハ其最モ簡單ナル場合ヲ想像シタルモノナリト雖モ其他若シ京都ノ丙東京  
 ノ甲ヨリ商品ヲ受取ラサルモ東京ノ丁ヨリ之ヲ受取リタルトキハ丁ハ丙ニ宛テ  
 手形ヲ振出シ甲之ヲ買ヒ乙ニ送付シ丙ヨリ支拂ヲ受ケシムルカ或ハ京都ノ乙カ  
 東京ノ甲ハ宛テ手形ヲ振出シ之ヲ丙ニ賣リ丙之ヲ丁ニ送リ甲ヨリ支拂ヲ受ケシ  
 ムルカ何レノ方法ヲ採ルモ二地間ニ現金ヲ動かサスシテ相互ノ貸借關係ヲ結了  
 スルコトヲ得之ノ方法ヲ稱シテ爲替ト云フ  
 前述ヘタル所ヲ以テ吾人ハ爲替ノ何タルヤヲ了得シタリ然ラハ銀行ハ爲替ニ對  
 シ如何ナル職分ヲ有スルヤ  
 抑モ爲替ノ各當事者ハ實際ニ於テ互ニ相識ラス又其需要ト供給トハ相一致スル  
 一ト極メテ稀ナルモノナレハ此處ニ銀行ハ爲替買賣ノ機關トシテ手形ノ賣手ヨ

(九)







併シ乍ラ素ト爲替ノ用タル送金ノ費用ヲ避クルカ爲ニ外ナラサレハ其費用即チ現金ノ輸送費ヲ超過シテ變動スルモノニテラス何トナレハ若シ之ヲ超過スレハ送金キントスル者ハ手形ヲ以テスルヨリモ直接ニ現金ヲ送付スルヲ便トシ手形又所持スル者ハ之ヲ賣却スルヨリモ現金ヲ回送ヲ請求スル方利多ケレハナリ以上ハ爲替相場ノ變動ニ關スル最モ單純ナル場合ヲ想像シタルモノナレトモ實際ノ上ニ於テハ手形ニハ期限アルモノアリ或ハ二地方間ニ於ケル金利ノ差異其他金銀價格ノ變動信用ノ厚簿等ノ爲メ前ニ述ヘタル範圍以外ニ變動スルヲ常トス以下場合ヲ分テ略述スヘシ

第一 手形期限

手形期限ニ參着拂及參着後拂ノ二種アレトモ實際上用ヒラル、モノハ多ク參着後拂ナルヲ通例トス而シテ參着後拂手形ハ其宛テラレタル場所へ到着次第支拂ヲ受クルモノニアラスシテ之ヲ以テ直ニ現金ヲ得ント欲セハ宛テラレタル場所ニ於テ割引ヲ受ケサルヲ得サルニ由リ之ヲ以テ支拂ヲ受クルモノハ其割引料タケ低價ニ之ヲ受取ラサル可カラス故ニ此ノ手形ヲ買フモノモ其割引料タケ低價ニ

(一一)

(一二)

買ハサル可カラス而シテ期限長ケレハ價格益々低シ故ニ銀行ニ於テ此種ノ手形ヲ購買割引スルトキハ一般爲替ノ狀況ノ外支拂期限ノ長短ニ注意セサル可ラス

第二 金利歩合

二地方間ニ於テ金利ノ差異アルモノトスレハ其利子歩合高キ所ニ於テ利子歩合低キ所ニ宛テタル手形ハ輸送點以下ニ於テモ賣却セラル、モノナリ例ヘハ横濱ナル甲倫敦宛ノ參着後六ヶ月拂ノ百圓手形ヲ所持スルトシ横濱ノ利子歩合一割二分ナルニ倫敦ニテハ六分ナリトセハ此手形ハ倫敦ニ向ヒテ支拂ヲ爲ス乙ヘ九拾七圓以上ニテ賣却セハ甲乙雙方ノ爲ニ利益アルヘシ然ルニ右手形ノ所有者ハ手形ノ需要ナキヨリシテ之ヲ倫敦ニ送り割引ヲ受ケ現金ヲ回送スルニ於テハ倫敦ノ歩合ニテ六ヶ月分ノ利子ヲ失ヒ或ハ六ヶ月ノ後ニ至リ倫敦ニテ支拂ヲ受ケテ之ヲ回送スルニ於テハ横濱ノ歩合ニテ六ヶ月分ノ利子ト倫敦ノ歩合ニテ六ヶ月分ノ利子トノ差ヲ失フヘシ尙何レノ場合ニ於テモ此ノ利子ノ外ニ運賃保險料ハ勿論兩地方往復ノ時間ニ於ケル利子ハ之ヲ失ハサルヲ得ス故ニ此ノ如キ場



合ニ於テハ甲ハ其手形ヲ直ニ九拾七圓以下ニテモ賣却シ現金ヲ得テ之ヲ利子歩合高キ横濱ニ於テ使用スル方便利ナルヘシ  
之ニ反シテ宛テラレタル地方ニ於テ金利高ク宛テタル地方ニ於テ金利低クレハ高價ニテ手形ヲ購買スルモ後ニ宛テラレタル地方ニ於テ現金ヲ得之ヲ以テ其地ニ於テ使用スレハ利益アルヲ以テ此ノ如キ場合ニハ一見手形ノ價格騰貴スルカ如シト雖モ此ノ場合ニハ輸送點ヲ超ユレハ現金ヲ送付シ以テ其地ニ於テ使用スルコトヲ得ルカ故ニ手形ノ價格ハ遂ニ輸送點ヲ超過スルコトナカルヘシ

### 第三 金銀價格ノ變動

方今各國ノ貨幣制度ニハ金貨本位制アリ銀貨本位制アリ金銀兩本位制アリテ其制度ヲ一ニセサルヲ以テ異ル制度ヲ有スル國ノ間ニ於テハ一方ノ貨幣ノ價格他方ノ貨幣ノ價格ニ對シテ變動スレハ之カ爲メ爲替ハ輸送點ヲ上下シテ變動スルモノナリ即チ甲國金貨本位制ヲ採リ乙國銀貨本位制ヲ採ル場合ニ於テ乙國ニ於テハ金貨ノ商品トシテ取扱ハレ又甲國ニ於テハ銀貨ノ商品タルニ過キス故ニ其價ハ地金銀ノ相場ニ伴ヒ從テ爲替相場モ亦之ニ準シテ昇降スヘキナリ例ヘ

ハ上海宛ノ手形ヲ横濱ニ於テ賣買スル場合ニ其手形ハ二國貸借ノ關係及金利等ノ原因以外ニ於テ更ニ横濱ニ於ケル銀貨相場ノ如何ニ由リテ大ニ其價ニ變動ヲ生スルカ如シ

其他甲國カ金銀兩本位制ニシテ乙國カ金單本位制ナル場合ニ於テハ兩本位國ニ於ケル金銀ノ法定比價ニシテ其市場比價ト異ナラサル時又ハ其異ル場合ニ於テ金銀貨ノ鑄造ニ制限ヲ加ヘタルトキニハ猶ホ同一ノ幣制ヲ有スル二國間ニ於ケル場合ト異ルコトナシト雖モ若シ金銀ノ法定比價其市場比價ト異リ而カモ兩本位國ハ金銀貨ノ鑄造ニ毫モ制限ヲ加ヘサル場合ニ於テハ「グレシヤム」ノ法則ニ據リ兩本位國ハ變シテ單本位國トナリ二國間ノ爲替相場ハ金單本位國ト銀單本位國トノ間ニ於ケル場合ト等シキ結果ヲ見ルニ至ルヘシ

### 第四 貨幣ノ狀態

貨幣ノ生命ハ無限ナルモノニアラス之ヲ使用スルコト久シキニ及ヘハ自ラ磨滅毀損スルモノニシテ從テ其價格ハ年々下落スルモノナリ之レ古來學者カ貨幣ノ壽命ヲ十五年或ハ二十五年ニ限リ其間ニハ必ス之ヲ改鑄スルノ必要アルコトヲ



唱へタル所以ナリ果シテ然ラハ今一國ノ貨幣ニシテ名目上百圓ノ價格ヲ稱フルト雖トモ其實質磨滅シテ九十七圓乃至九十九圓ノ實價ヲ有スルニ至レハ之ヲ外國ニ支拂フニ當リ外國人ハ其實價ニ依ルニ非ンハ取引ヲ爲テ、ルニ依リ此ノ場合ニ於ケル爲替ハ磨滅貨幣ヲ有スル國ノ爲ニ其磨滅ノ度タケ逆トナルヘシ紙幣ノ下落ニ基ク爲替相場ノ變動モ尙貨幣磨滅ニ基ク爲替ノ騰貴ト同一理論ヲ以テ説明スルコトヲ得ヘシ而シテ紙幣ノ下落ニ因ル爲替ノ騰貴ハ貨幣磨滅ノ場合ヨリモ激甚ナルヲ常トス何トナレハ紙幣ノ下落ハ硬貨ノ下落ヨリモ激甚ナルヲ常例トスレハナリ

### 第五 戰爭其他ノ事變

戰時若クハ海賊等ノ横行スル場合ニハ爲替相場ハ往々現金輸送點以上ニ上ルコトアリ之レ現金ヲ以テ送金ヲ爲ストキハ途中ニ於テ捕獲又ハ掠奪ノ危險ヲ犯サル可カラサルニ反シ手形ヲ以テ送金ヲ爲ストキハ之等ノ危險ナキヲ以テ也蓋シ近世國際法上ノ慣例トシテ海上ニ於ケル私有財産ノ保護ハ極メテ不完全ナルノミナラス中立國船舶内ニ於ケル金錢ト雖尙戰時禁制品トシテ之ヲ沒收スルコ

トハ現今多數ノ文明國ト雖モ敢テ躊躇セサル所ナレハナリ

## 第三節 爲替逆戻矯正法

前節ニ於テ述へタル所ニ依テ之ヲ觀ルニ爲替相場ノ變動ハ諸種ノ原因ヨリ生シ之ヲ實際ニ徵スルモ單一原因ニノミヨリテ對外爲替相場ノ變動ヲ解釋スルコト極メテ困難ナルモノナンハ今若シ一國ニ於テ爲替相場ノ變動ヲ生シタル場合ニ於テハ普ク時及場所ニ於ケル諸種ノ原因ヲ綜合研究シ以テ之カ解釋ヲ試ミサルヘカラス而シテ爲替ノ逆戻タルヤ一定ソ貨幣ヲ以テ之ト同額ナル他ノ場所ノ貨幣ヲ得ル能ハサルモノナレハ之ニ因テ蒙ル所ノ經濟上ノ損失ハ蓋シ尠少ニ非ス故ニ之ヲ矯正スルノ策ハ又吾人ノ研究ニ値スルモノト云ハサルヘカラス爲替ノ逆戻ヲ矯正スル策三アリ曰ク自然的矯正法曰ク根本的矯正法曰ク金利息策之レナリ

### 一 自然的矯正法

之レハスタチェー等一派ノ唱フル所ニシテ爲替ノ逆戻ヲ矯正スルハ之ヲ自然ニ放



任スルト云フニアリ凡ソ一國ノ國際貸借其平均ヲ失ヒ爲替逆戻トナルヤ正貨ノ輸出トナリ銀行ノ正貨準備ハ之カ爲ニ減少スルハ自然ノ結果ナリ而シテ正貨準備ノ減少ハ兌換券流通高ノ縮少トナリ曳テ金利ノ騰貴及物價ノ下落ヲ來シ金利ノ騰貴ハ海外資産ノ流入トナリ物價ノ下落ハ輸出貿易ヲ振興シ再ヒ爲替相場ヲ順適ナラシム之レ人爲ニ依リ爲替相場ヲ挽回スルニ非スシテ自然ノ狀勢ハ爲替相場ヲ矯正スルカヲ有スルモノナリト云フニアリ

乍併此ノ方法ニ依リ爲替相場ヲ矯正スルコトハ比較的長時間ヲ要シ而カモ之カ爲メニ事業ヲシテ挽回スヘカテサル悲境ニ陥ラシムルコトアリ之レ爲替ノ逆戻ヲ矯正スルニハ到底人力ニ俟タサルヘカラストスル所以也

### 二 根本的矯正法

之ハ其ノ爲替相場變調ノ依テ來ル原因ヲ調査シ之ヲ根本的ニ矯正セントスルニアリ例ハ爲替逆戻ノ原因ニシテ單ニ輸入ノ輸出ニ超過スルニアレハ力メテ輸出貿易ヲ獎勵シ之ヲ矯正スヘク又其原因ニシテ幣制ノ不良ナルニアラハ之ヲ改正スヘク其他紙幣ノ増發通貨ノ磨滅或ハ急劇ノ事業勃興等ノ如ク各其原因ヲ探查

シテ之ヲ矯正スルカ如シ爲替逆戻ノ原因ノ重ナルモノヲ列記スレハ左ノ如シ

イ 輸入ノ輸出ニ超過スルコト

ロ 外債元利金其他外國へ支拂フ可キ保險料手數料運賃旅費等多額ナルコト

ハ 外國へ資本ヲ輸出スルコト

ニ 利子割引歩合ノ低キコト

ホ 貨幣ノ磨滅又ハ紙幣ノ増發

ヘ 外國へ償金ヲ支拂フコト

### 三 金利政策

之ハ爲替相場ニシテ逆戻トナラントスルニ方リ應急ノ手段トシテ利子歩合ヲ增加シ通貨ヲ吸收シ以テ正貨ノ流出ヲ防壓セントスルノ方法ヲ云フ此ノ方法ニ依ルトキハ外國ニ於テ資金ヲ有スル者ハ之ヲ其地ニ於テ使用スルヨリ之ヲ内地ニ送り使用スレハ其利子割合高キヲ以テ自ラ利益アルヘキニ依リ或ハ之ヲ以テ公債株券ヲ買入レ或ハ之ヲ銀行ニ預ケ入レ或ハ自ラ之ヲ貸付割引ニ使用スル爲メ



金銀ノ輸入ヲ來シ從テ内地宛ノ手形ノ需要モ増加シ爲替ハ忽チ順適トナルニ至ルヘシ

以上三個ノ矯正法中第一ノ自然的矯正法ハ今日ノ經濟社會ニ於テ爲替ノ逆戻ヲ矯正スル應急ノ手段トシテ固ヨリ多大ノ缺點ヲ具備シ到底自由放任主義派ノ空想タルニ過キス素ヨリ吾人ノ採テ以テ據ルヘキノ方法ニアラス故ニ吾人ハ根本的矯正法及金利政策ノ二者ヲ以テ今日ニ於テ尤モ事宜ニ適シタル矯正策ナリト信スルモノナリ

#### 第四節 爲替ノ實務上ニ要スル注意

##### 第一 爲替ノ仲立勘定

今甲地ヨリ乙地ニ向ツテ支拂ヲナスニ方リ甲地ノ支拂人ハ必スシモ乙地宛ノ爲替手形ヲ購買スルコトヲ要セス甲地ニ於テ丙地宛ノ手形廉價ニシテ乙地ニ於テハ丙地宛ノ手形高價ナルトキハ甲地ノ支拂人ハ丙地宛ノ手形ヲ以テ乙地ヘノ支拂ヲナスコトヲ得ヘシ此ノ便利ナル勘定ノ方法ヲ稱シテ爲替ノ仲立勘定ト云フ

(四)

(五)

此ノ方法ハ經濟上國際關係ノ益々繁雜ニ趣クニ隨ヒ愈々複雑トナルモノニシテ其方法ニシテ巧妙ナレハナル程支拂人ノ利益ヲ増大スルモノナリ而已ナラス此ノ方法ハ一定ノ場所ニ於ケル供給多キ手形ノ需要ヲ増加シ他ノ場所ニ於ケル需要多キ手形ノ供給ヲ増加シ以テ其價格ヲ平均シ大ニ爲替相場變動ノ度ヲ輕クスル一般經濟上ノ利益ヲ具備ス

我國本年上半季ノ貿易表ヲ見ルニ歐洲貿易ニ於テハ對佛生糸輸出ニ二百六十万圓ヲ減シ對英羽二重輸出ニ百二十万圓ヲ減シタリト雖モ東洋貿易及米國貿易ニ至リテハ順次増加ノ傾向アリ此ノ場合ニ於テ我國ニ於テ供給多ク歐洲ニ於テハ需要多キ米國若クハ東洋諸國宛ノ爲替ヲ以テ歐洲ニ對シ支拂ヲナスハ所謂爲替ノ仲立勘定ヲ利用シテ國際間ノ貸借關係ヲ最モ有利ナル方法ニ依リ決濟スルモノナリ

##### 第二 爲替ノ計算

外國爲替ノ計算ニハ受取計算及授與計算ノ二種アリ前者ハ我カ貨幣ヲ基礎トシ之ニ對シテ外國ノ貨幣ヲ受取ルモノヲ云ヒ後者ハ彼ノ貨幣ヲ基礎トシテ我カ



貨幣ヲ授與スルモノヲ云フ而シテ其基礎トナルモノヲ通常不動部ト云ヒ此ニ對シ受取リ又ハ授與スルモノヲ動部ト云フ我國ノ外國爲替ハ我カ一圓ヲ基礎トシ之ニ對シテ外國ノ貨幣ヲ受取ルノ計算法ニシテ所謂受取計算ニ屬スルモノナリ而シテ正金銀行其他ノ相場表ニハ我カ一圓ニ對シ受取リ得ヘキ外國貨幣ヲ掲ク例ヘハ巴里トノ爲替ハ二フラン十サンチム紐育トノ爲替ハ五十ドル四分ノ一等ノ如シ故ニ受取計算ニ於テハ受取ルヘキ貨幣ノ多キヲ以テ利トシテ其額ノ大ナルハ大ナル程爲替ハ順適ナリ此ノ場合ヲ我カ國ニテハ爲替ノ低落ト云ヒ之ニ反スル場合ヲ爲替ノ騰貴ト云フ

授與計算トハ例ハ米金一ドルヲ基礎トシテ我金貨二圓十五錢ヲ與フルモノ、如キヲ云フ此ノ場合ニ於テハ授與スヘキ額ノ増加ハ不利ノ爲替ニシテ其増加多ケレハ爲替ハ逆戻トナルヘシ我國ニ於テハ授與計算ナシト雖モ英國ノ如キハ兩種ノ計算法ヲ有スルヲ以テ實際ニテハ往々用語上ノ混雜ヲ來スコトナシトセス

### 第五章 恐慌

(六)

#### 第一節 恐慌ノ意義及發生ノ事情

(七)

恐慌トハ元ト經濟社會ニ於ケル病的現象ニシテ其原因タルヤ極メテ錯綜シ之ヲ觀察スル方面ノ異ルニ從ヒ學者ノ言フ所往々其說ヲ異ニスルハ自然ノ勢ナリ左ニ二三學者ノ恐慌ニ對スル觀念ヲ觀察スヘシ

マヤグラール曰ク恐慌トハ經濟上ノ平和破レ此ノ混亂中ニ在ル人々ノ生死問題ヲ決定スヘキモノニシテ所謂商人ノ確實ナルヤ否ヲ試驗スヘキ試金石ナリ

コンナント曰ク恐慌トハ商業上ノ活動急激ニ停止シ信用崩壞スルノ状態ナリ

オハリストンハ恐慌ヲ定時ニ Periodicalニ發スル一種ノ經濟状態ナリトテ曰ク經濟社會ハ不景氣回復信用増加好景氣企業熱企業過度破裂壓抑沈滯等種々ノ經濟状態ヲ順次經過シテ再ヒ元ノ沈靜ニ歸スルノ定時性ヲ有スルモノナリ



ホワイト曰ク恐慌トハ商業ノ進路上ニ起ル擾亂ニシテ其條件ヲ平常ニ復セシムル必要ヨリ起ルモノナリ。

ロツセル曰ク恐慌トハ生産ト實効アル需要 Effective demand トノ平均ノ破裂ナリ

以上諸種ノ定義ハ各々其觀察點ヲ異ニシテ觀念シタルモノニシテ又中ニハ其時代ニ於ケル恐慌ノ特徴ヲ示シタルモノナキニ非スト雖モ余ハ現今ニ於ケル恐慌ノ觀念トシテ先ツロツセルノ定義ヲ以テ稍々其意ヲ得タルモノト信シ所謂恐慌トハ生産ト實効アル需要トノ不平均ナリト云フコトヲ以テ恐慌ヲ觀念セントスレトモ前ニモ述ヘタル如ク元來恐慌ハ經濟社會ニ於ケル錯雜セル多數ノ原因ヨリ生スルモノナレハ單ニ生産ト需要トノ不平均ト云ヘル數語ヲ以テ現今ニ於テ發生シ得ヘキ總テノ恐慌ヲ規律セントスルハ少シク大膽ナルカ如キモ由來經濟社會ノ事ハ往々常規ヲ逸スルコト少カラサレハ恐慌ニシテ若シ前述ノ原因以外ニ依リ發生セハソハ特別ノ研究ニ價スヘキモノニシテ大體ニ於テ以上ノ定義ヲ以テ恐慌ヲ觀念セハ大過ナカル可シ

(八)

(二)

前ニ述ヘタル如ク恐慌ハ諸種ノ事情ヨリ發生スルモノニシテヴイルトハ左ノ十

- 一、人民起業心ノ勃興及投機熱ノ沸騰
- 二、射倖心商業界ノ風潮ヲナスコト
- 三、起業者ヲ信スルコト輕々ニ出テ事業ノ得失確否ヲ研究セス直ニ爭テ之ニ加入スルコト
- 四、差額賣買盛ニ行ハル、コト
- 五、奢侈ノ風盛ナルコト
- 六、賭博ノ流行甚シキコト
- 七、食用品奢侈品及未製品ノ市價暴騰シ製造品ノ減少若クハ其市價ノ下落セルコト
- 八、都會ニ於ケル不動産ノ市價及都鄙一般ノ借地料、借家料、小作料ノ暴騰
- 九、労働者ノ需要劇増シ其賃銀從テ昂進シ同盟罷工之ニ伴フテ續生スルコト
- 十、貸付利子割引歩合ノ騰貴



十一、政治上其他顯著ナル原因ナクシテ取引所ニ於ケル有價證券ノ價漸次下落スルコト

グイルトノ列記セル所ハ所謂恐慌發生ノ事情トシテ最モ吾人ノ參考ニ資スヘキモノニシテ居常詳ニ此等ノ事ニ注意セハ恐慌ヲ豫防スル上ニ於テ尠カラサル利益アルコト言フ俟タス此ノ外恐慌カ豫メ最モ顯著ナル反應ヲ與フルモノハ銀行ナリ抑モ事業勃興ノ結果資本ハ固定シ流動資本ト固定資本トノ權衡ヲ失シ銀行ノ貸出資本減少シ利子歩合騰貴スルノ事實ト物價騰貴ノ結果正貨流出シ正貨準備ヲ減シ爲ニ金融ヲ逼迫セシムルノ事實トハ殆ト凡テノ恐慌ニ共通ナル現象ナリ故ニコナントノ云フカ如ク銀行ノ勘定ハ恐慌ノ一「バロメーター」タルヘキモノナリ

### 第一節 恐慌ノ原因

恐慌ノ依テ起ル原因ニ關シテハ古來學說區々ニシテ第十八世紀ノ末ヨリ第十九世紀ノ初ニ於ケル所謂工業革命以來歐米ノ經濟界ニ一大動變ヲ來シ其結果トシ

(一)

(三)

テ貨物ノ生産過剩ニ基ク停滯ヲ生シ從テ價格ノ下落大企業ノ失敗労働者ノ困難等相次テ起リテヨリ恐慌ノ原因如何ノ研究ハ經濟上重要視サル、ニ至レリ前述フルカ如ク恐慌ハ種々ナル原因相集リテ生スルモノニシテ余ハ多數學者ノ羣ニ倣ヒ之ヲ生産交換分配消費ニ付各別ニ研究セントス

#### 第一 生産ニ關スル原因

今日ノ經濟社會ニ於テハ私有財産制ヲ基礎トシ自由競争行ハル、ヲ以テ例ヘハ某物品ノ價格騰貴ノ傾向ヲ生セハ其生産者ハ各資本ヲ増加シ巨利ヲ博セントス此ニ於テカ遂ニ生産過剩ノ時期到來シ其生産ハ需要ト相適合セス相率ヒテ恐慌ノ淵ニ陥ルナリ蓋シ方今ノ工業社會ニ於テハ器械ヲ用ユルコト多ク器械工業ノ特徴トシテ一旦生産ノ過剩ヲ悟ルト雖モ容易ニ其生産ヲ中止スルコト能ハス寸毫ノ利益ナクシテ尙其業ヲ器械ノ爲ニ續クルハ吾人ノ屢見ル所ナリ故ニ恐慌ハ孤獨經濟ノ行ハル、時代ヨリモ器械工業ノ行ハル、今日ニ多キハ固ヨリ其所ナ

#### 第二 交易ニ關スル原因



交易市場ニ於テ其媒介ノ具タリ價格ノ標準タルヘキ貨幣ニシテ不良ナルカ爲メ一般物價ヲ騰貴セシメ是カ直接ノ原因トナリテ生産過剰ヲ誘起シ遂ニ恐慌ヲ發生セシムルコトハ古來屢々史乘ニ於テ見ル所ナリ殊ニ不換紙幣ノ濫發ニヨリ硬貨ヲ驅逐シ其流通高ト需要高ト權衡ヲ失シタル場合ニ於テ之カ原因トナリテ發生スル恐慌ハ更ニ恐ルヘキモノアリ由來不換紙幣ノ發行タルヤ多ク財政困難ノ極他ニ求ムヘキノ財源ナキ時ニ於テ止ムヲ得ス爲スモノニシテ得テ濫發ニ陥リ易キ缺點アリ此レ古來不換紙幣ノ發行ニ因リ殆ト恐慌ノ之ニ伴フモノアルヲ見ル所以ナリ

其他交通機關ノ發達及ヒ信用ノ濫用カ恐慌ヲ惹起スルコト勘カラス例之交通機關ノ發達カ運賃ノ減少トナリ生産費ヲ減少シ遂ニ生産手段ノ改良トナリ不知不識ノ間ニ生産ノ過多トナリ恐慌ヲ惹起スルカ如シ或ハ又運輸機關ノ發達ニ依リ穀物市場ニ大變動ヲ與ヘ引テ農業上ノ恐慌ヲ惹起スルコトアリ例ヘハ米國ノ内地ニ無數ノ鐵道布敷セラレ大西洋ノ航海發達シ北米ノ穀物歐洲大陸ノ市場ニ侵入シ歐洲ニ於ケル農業上ノ恐慌ヲ生セシカ如キ其適例ナリ

(四)

又信用ハ往々恐慌ノ原因トナルコトアリ殊ニ信用ノ濫用ニ依リ空手形等ノ盛行ハル、場合ニ於テ其不渡カ原因トナリ一般市場ニ恐慌ヲ生スルコトアリサレハ信用機關ヲ司ル銀行者ハ特ニ注意シテ信用ノ濫用ヲ排除セサル可カラス

(五)

### 第三 分配ニ關スル原因

社會ニ於テ私有財産制ト自由競争トノ存スル以上ハ到底財ノ分配ハ公平ナル能ハス一方ニ於テハ少許ノ財ノ分配ヲ受クル多數ノ者アルト同時ニ一方ニ於テハ多大ノ財ノ分配ヲ受クル少數ノ者ヲ生ス此ノ少數者ニ分配セラレタル財ハ所謂資本トナリテ少クモ其一部分ハ新事業ヲ起スノ資トナルヘシ此ニ於テカ勞力ノ需要ヲ増シ賃銀ヲ騰貴セシメ從テ勞働者ノ消費力ヲ増加シ貨物ニ對スル需要ヲ増加スルカ如キモ元來勞働者ノ賃銀ハ比較的少許ナルモノナレハ其増加シタル消費力ヲ以テシテハ新事業ノ爲ニ生産セラレタル貨物ヲ悉皆需要スルコトヲ得ス茲ニ生産過剰ヲ起シ遂ニ恐慌ヲ惹起スルノ原因トナルニ至ルヘシ

### 第四 消費ニ關スル原因

財ノ分配ノ不平均ハ社會多數ノ勞働者ニ酷ナリ而シテ社會多數ノ消費者ハ勞働



者ナリ故ニ其不平均ノ度ニシテ大ナル程多數ノ消費力ヲ減退スルノ理ナリ此ノ點ヨリ見レハ消費モ亦恐慌ノ一原因トナルコトヲ失ハス其他天災地變若クハ戰爭等ノ原因ニ依リ一般人民ノ消費力ヲ減退シ之カ原因トナリ恐慌ヲ惹起スル事ナシトセス

### 第三節 恐慌ノ豫防及救濟

恐慌ノ豫防及救濟ハ恐慌ノ各原因ニ就テ之ヲ研究スルコトヲ要ス

#### 第一 生産ニ因ル恐慌ノ豫防及救濟法

生産ノ過剩ヲ防止スル爲ニハ固ヨリ諸種ノ手段ナキニアラスト雖モ銀行者ノ採ルヘキ最良ノ手段ハ先ツ割引政策ニアリト云ハサルヘカラス投機熱漸ク現レ生産者ハ大勢ニ着目セス徒ニ巨利ヲ博セントシ生産ヲ増加セントスルトキハ銀行ハ速カニ割引歩合ヲ引上ケ生産ノ過剩ニ至ラサル前ニ之ヲ抑制スルニアリ其他カノ「トラスト」「ボンヤゲート」及産業組合ノ如キハ今日ノ如ク私有財産制度ヲ基礎トスル經濟組織ニ於テ生産ヲ整齊スル一方法ニシテ之カ爲ニ同業者間ニ不當ナ

(六)

ル競争ヲ除キ需要ノ多少ニ從ヒ生産ノ高ヲ左右スルコトヲ得ヘシト雖其獨占等ヨリ生スル弊害モ亦少カラサレハ未タ以テ完全ナル方法トハ云ヒ難シ

(七)

#### 第二 交易ニ因ル恐慌ノ豫防及救濟法

貨幣制度ノ不良ヨリ來ルモノハ之ヲ改良スヘク不換紙幣ヨリ起ルモノハ先ツ其發行方法ニ注意シ所謂金紙平均及外國爲替平均法ニ則リ力メテ其濫發ヲ避クルニアリ其他交通機關ノ發達ヨリ生スルモノ、如キハ到底姑息ナル彌縫策ヲ以テスルノ外之ヲ防止スルコト能ハス例ハ保護政策ニ依リ外國品ニ重課シ内國品ノ課稅ヲ輕クスルカ如シ

信用カ恐慌ノ原因トナル場合ニハ銀行ハ只信用ヲ堅實ニ利用スルノ外ナシ殊ニ金融社會ノ中樞タルヘキ銀行ハ常ニ經濟界ノ有様ヲ觀察シ所謂割引政策ニ依リ金利ヲ上下シ巧ニ恐慌ヲ未發ニ防クノ手段ヲ採ルニ如クハナシ投機熱ノ初期ニ際シ恐慌將ニ來ラントシ信用ノ濫用起ラントスルノ兆アルトキハ直ニ金利ヲ引レケ之ニ備ヘ且割引手形ノ性質ヲ嚴格ニ検査シ空手形ノ如キハ力メテ之ヲ排斥スヘシ不幸ニシテ一旦恐慌ノ起ルニ及ンテハ銀行ハ一方ニ於テハ金利ヲ引上ケ



一方ニ於テハ確實ナル手形ニ對シテハ進テ融通ノ途ヲ開カサル可カラズ此ノ融通ヲ與フルカ爲メ中央銀行カ兌換券發行ノ爲メカノ非常手段ヲ試ムルモ實ニ此ノ時ニアリ英國ノ如ク一部準備法ヲ採ル國ニ於テハ千八百九十年ノバーリン恐慌ノ場合ニ於ケルカ如ク外國ヨリ一時巨額ノ資金ヲ借入ル、ノ窮狀ニ陥ルコトナシトセス更ニ進ンテハ千八百四十七年五十七年六十六年ニ於ケルカ如ク銀行法停止ノ手段ヲモ敢テセサルヘカラサルノ必要ヲ生スヘシ

### 第三 分配及消費ニ因ル恐慌ノ豫防及救濟法

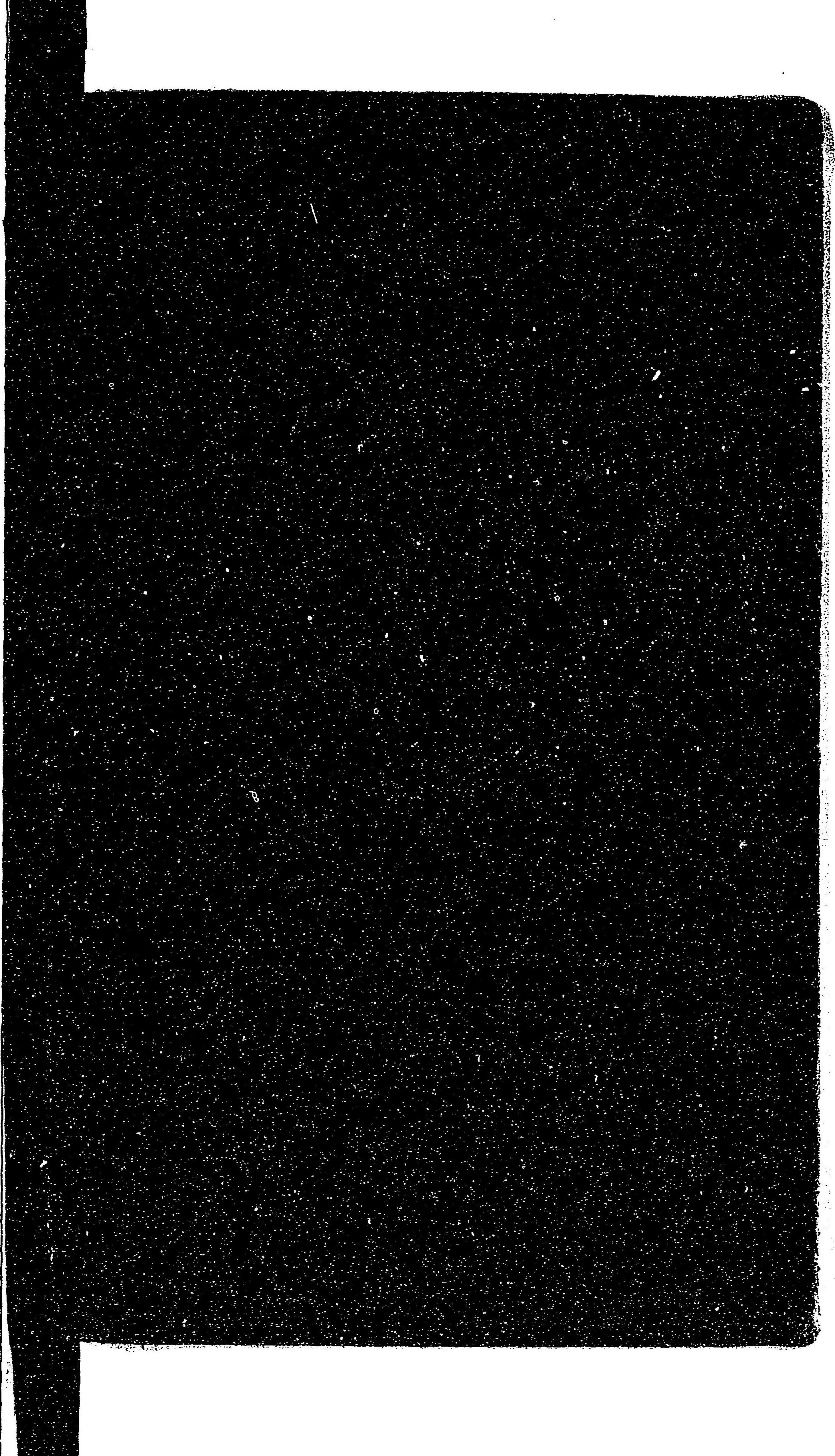
財ノ分配及消費ニ原因スル恐慌ヲ救濟スル方法ハ一方ニ於テハ法律其他慣習ノ力ヲ以テ成ル可ク財ノ分配ヲ公平ナラシメ労働者ノ消費力ヲ増加スルノ外ナシ此ノ方法ハ所謂社會政策ト相俟テ發達スヘキモノナリ  
之ヲ要スルニ恐慌ヲ防止スル手段トシテ銀行ノ採ルヘキモノハ割引政策ニ如クモノナシ殊ニ中央銀行ハ一國經濟界ノ中樞トナリ金融市場ニ一大勢力ヲ有スルモノナレハ居常經濟界ノ狀況ニ注目シ巧ニ其割引政策ヲ運用セハ庶幾クハ恐慌ヲ未發ニ防クヲ得ンカ



毛  
303

第  
三  
二







303

京都法政大学  
第二期講義録  
銀行論

尾崎敬義

041060-000-1

モ-303イ

銀行論

尾崎 敬義/述

M37

BDF-0206

